滿洲日報

本社 大石橋市街 瑞穗洋行
支局 遼陽西門外 芳文館
及 奉天大南門內 本社支局
販 景祐宮胡同 岡野新聞舖
賣 大連盤城町 天祐公司
所 安東縣新市街 泰東公司
新民府

油豆行情（中歷六月十九日）
糧市元豆六吊百至六三吊二百
紅糧價錢五吊四百文至五吊
北上直三十餘輛
邊東共來七十餘輛
元豆六吊九百至六吊八百

特別廣告

日本郵船株式會社
滊船出帆廣告
營口出帆
●高砂丸　八月三日出帆　太沽、芝罘、長崎、門司、神戸行
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ
未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
營口代理店　旗昌洋行（電話二十六番）

大阪商船株式會社
營口滊船出帆廣告
●盛航丸　八月八日入港
代理店　營口公園地橫　泉ブンレユ兄弟商會　遼東洋行（電話二十三番）

滊船出帆廣告
●鷹取丸　八月二日　門司神戸行
●摩耶山丸　八月三日　仝
松茂洋行船舶部
海岸東稅關西　電話（五二）（五七）

朝日ビール、スペシャルライト
廉價販賣仕候
滿洲一手販賣元
松茂洋行商品部（電話五二番）

安東縣市場通七丁目
合資會社　秋田商會支店
洋鐵　麥粉、白糖、白米、玻璃板、亞鉛板、鐵線、洋釘類、
鋼　建築土工用具及船具類
其他諸機械ノ製作修繕
安東縣東大街
合資會社　秋田商會支店

資本金貳千四百萬圓
積立金一千壹百五拾萬圓
橫濱正金銀行牛莊支店
本支店出張所　橫濱　神戸　東京　長崎　大阪　倫敦　里昂　紐育　桑港　布哇　孟買　香港　上海　漢口　天津　北京　大連　旅順　奉天　遼陽　芝罘　鐵嶺　安東縣
（電話十番支配人室二百八番事務室）

正隆銀行

營業項目
一定期預金（長期存款）　三ケ月 五分　六ケ月 按年五分五厘　一ケ年 六分
一當座預金（暫存款）　按年 四分五厘　日步 一錢二厘三毛
一小口當座預金（零碎暫存款）　按年五分一厘　日步一錢四厘毛
一送金爲替取組（滙兌）　先 東京、橫濱、大阪、神戸長崎、上海天津の橫濱正金銀行本支店
一貸附金（放利）　一般財産並に土地建物の管理を引受くること　不動産抵當貸附金の委託を引受くると
一附帶ノ業務

本行受入の幣は軍票及正金一覽拂手形は勿論墨銀小銀貨に至る迄悄々御都合宜敷樣可相働候尚近々の內過爐銀の取引をも開始可致候

軍政署認可

●ぬ號勸業貯蓄債券（五圓券）發賣
營口西北街第二百三十號（日本人會西隣）
支配人　深水十八（電話二百十番）

宅洋行、
啓者敝行專賣綿紗綢緞子紋布手巾花巾洋緞東洋綿布等類價値格外克己並且貨眞價實以致敝行名譽日增前蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸營業以便貨客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意愈覺彰明所有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽款待周詳俾可面商一切事宜幸中外士商惠其誠實無欺惠臨賜顧曷勝榮幸之至　總司理人　田中頼之助　謹白
開設老爺閣街同盛德院內　電話（店一八三番 住所五五番）

東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉絲布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並匯兌銀錢彙代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜彙置有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉貴客賜顧請到小號面議是有
總司理人　葉亮卿謹白

東永茂
機器油房在營口創辦油榨生意多年以本營業非祗做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物幷代客莊運滊船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之　正理事潘玉田　副理事金德魁
設在營口西北街路南

西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南營乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞　本主人敬啓

仁裕號
係裝運各幇火輪船生意兼買各幇洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北營乙第十三號

永順洋行
本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞子斗篷絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國十布家綿白染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西街東北　櫃（電話九十五番）
西義順棧內　西櫃（電話九十八番）

志岐組、
本組開設營口綏定門外專辦架造房屋及做工之事自今發售各種日本木料洋灰玻璃洋酒麥酒便利瓦等類價値格外從廉品質精良並且貨眞價實以致本組格外名譽其誠實無欺惠臨中外士商賜顧請到本組面議是幸　本主人謹白

三井
電話　第六十六號　第九十一号

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭、糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部經理
今回倉庫所在地（青堆子精搗場上陸り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候（電話百二十八號）

○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售　日本白米

○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

啓者火災之害影響於商界者最鉅營口爲通商大埠百貨所集資本浩繁有保險以維持之可以有特無恐法至良意至美也小行經理日本明治火險公司已歷多年幸蒙中外所信用前有郭漁筌朱斐章王鹿芹先生久在營口信義素著且於保險章程最能熟悉小行特請爲代理人以廣招徠使保險者便於接洽聲應氣求較之直接尤爲穩妥諒亦諸貴商所樂聞乎如蒙賜顧請逕至大德亭內面議可也

三井洋行啓

營地商務之盛大異昔年惟於火險一道以謂關於天數吝惜保費孰知一家東本數萬金常存數十萬金之貨一遇不測非但數十年老業難繼即殷實東家亦覺受累無窮可見保險之有益豈淺鮮哉　僕等承三井洋行謬愛囑爲代理日本明治火險公司保險各事　僕等素知該公司及該洋行信義久著故敢代爲介紹且保費亦較他公司克己諸公賜顧請　駕臨大德亭內面議不誤

王鹿芹　朱斐章　郭漁筌　仝啓

洋行　電話　第六十六号　第九十一号

盛海洋行

●印判彫刻　●ゴム印
●活版名刺
●各色印肉インキ附屬品一式
各位の御引立に依り日に月に隆盛に趣き候段奉謝候今回技術精好なる職工數名聘着候に付分占設立と同時に一層勤勉を以て期日正確價格低廉貴需に應ず可く候間多少に不拘御下命被下度候　御報知次第店員參上仕候
營口永世街三十七号
刻字舖　尾崎洋行
奉天小西關大街二七八号南側　尾崎洋行分店

東省巡航公司業務廣告
本公司は牛家屯東稅關西稅關河北間に小蒸滊船ホーチン號を往復せしめ牛家屯河北停車場發着列車の連絡を取り旅客の迎送をなす
本公司は牛家屯營口河北間貨物の運搬及曳船の御用の節は御依頼に應ず　電話二百三十六番へ御一報煩し度候
本公司乘船場は牛家屯停車場前棧橋河北停車場前棧橋東稅關棧橋西稅關東部にあり切符發賣所は各乘船場及船中にて發賣す

賃銀

至＼自	牛家屯	東稅關	西稅關
河北	三十錢	二十錢	十錢
西稅關	三十錢	二十錢	
東稅關	二十錢		

數同切符は特に割引可致候

列車連絡時間表（日本時間）
東稅關午前五時發　牛家屯六時三十五分發列車に連絡
仝午前六時發　河北七時發列車に連絡す
東稅關午後七時四十分發　牛家屯發九時三十五分の列車に連絡
牛家屯午前九時四十分發　牛家屯九時十分着の旅客を迎ふ
牛家屯午後八時發　營口牛家屯間通勤諸士の營口歸りの便を計る
河北午後六時發　河北五時四十分の旅客を迎ふ

營口元神廟街第五十五號
東省巡航公司　謹白
電話番號二百三十六番

牙大夫學士兒島醫院
DENTIST. Dr. KOJIMA.
●語日齒全壽長●營口元神廟街
告白
啓者本院主從來於森醫院治療從事則近時稍感狹隘因今別卜居開院新式諸器械完備無遺憾專足於敝治牙疼施術齲窩金銀充塡落齒補足妙技矣有齒牙疾患者希咀嚼快者欲皓齒金光燦爛美者速來知神秘妙執事

SP
糸平公司
本舖在大阪創業以來一百餘年今般本埠設支店所有發賣物品貨美價廉如蒙中外士商賜顧請至本行購買可也今將自製布疋陳列下　東洋各色絨布毯子各式被面白色布疋各種綿布其他一切織物概行發賣並特約販賣　正日光皮酒價及各樣雜貨尤廉減特此廣告
朝日ビール特約大販賣
營口元神廟街南邊路西（電話百九十二号）

鐵道 遼河　裕和盛運輸局（電話八十十号）
在東營口西北街旗昌洋行對門
啓者本号向在日本長崎開設數十年開店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人　周鶴雲
運輸部主任　高濱麟太郎　謹啓

徽州　怡昌祥茶號
本號專在徽州黃山採辦三十六峰雲霧仙種名茶色香味與衆不同加工揀焙重窨歙郡珠蘭不惜資本以圖久遠凡貴商大寶號賜顧者請認明本号黃山圖記庶不致誤
怡昌祥主人謹白寓營口恆利德

日本官造紙煙專售告白
本號現開設在大連、安東縣、營口、遼陽、奉天、鐵嶺、等處專售日本官造紙煙朝日（紅旭牌）大和（雲花牌）敷島（蓬島牌）媚嬌咧（軍旗牌）隆佑來福（雙仙鶴牌）利利（百合花牌）捷利（櫻花牌）斯達（星象牌）哥耳天巴德（蝙蝠牌）等九種及煙絲各樣
東營口西北街（舊代代木公司）
日本官煙營口專賣處

救治萬病　濟生八方　神効無比

廣告料
一五号活字十九字詰一行一回　二十錢
四号活字十四字詰一行一回　三十錢
二号活字九字詰一行一回　四十錢
例刊　每日發行　價目面議
清國營口中街（電話一二九番）
發行所　滿洲日報社

東京電報

●行賞下賜の公債券（七月三十日發）今回陸海軍人へ行賞下賜の公債証券は直接本人に交附せず郵便貯金管理所に回送保管せしめ浪費を防ぐ筈なり

●練習艦の巡航（同上）練習艦隊橋立松島嚴島の三艦は一日佐世保を出港し日本海を巡航すべし

●在滿日本人の評論（同上）モリソン博士は日本か撤兵其他の事務を誠實に履行しつゝあるも滿洲に渡航する日本人中には好しからぬ性格のもの多しとの評論倫敦への通信に見えたり

●參謀總長新任（七月卅一日發）奥大將は參謀總長に補せられたり（昨日欄外再錄）

●地方官の更迭（七月卅日發）大分岐阜外八縣知事に更迭あり六名の知事と三十六名の縣事務官とは休職を命せられたり

●地方高等官の加俸（同上）地方高等官俸給令に改正を加へられ三府外十二縣の知事事務官は一定の加俸を受くることゝ爲る

●輜重輸卒の叙勳（同上）第十二師團の内にて輜重輸卒の功七級金鵄勳章を受けしもの十名ありたり

●南滿洲鐵道設立總會（同上）南滿洲鐵道會社設立委員第一回總會は九月二日貴族院内事務所にて開くことに決定す

●桂伯昨今の病狀（同上）一時重態に陷りたる桂伯の病狀は其後經過佳良なりと傳へらる

●總督歸任の延期（同上）大島總督の歸任は又々延期したり

鐵道受領特派員電報

公主嶺より（七月三十一日午前八時廿五分發）

二十九日午後三時當地着の際は露の委員長サーハロフ及びブリンス、ヒルコフ○ブイコフ等の出迎を受け同夜授受の手續を定め三十日范家店に向ひたり

三十一日午前十一時長春に着く授受手續書の取換を終り通信所を開始し守備兵の配置を終る鐵道は長春の手前の停車場まで受取る

一行今歸着せり

遼陽電報

●領事事務の引繼（八月一日午後二時通信員發電）速水副領事昨日來着萩原總領事立會ひ明日中に引繼事務を了する筈なり

北京電報

●奉天露國領事（七月卅一日發）駐北露國公使は奉天に露國領事を置かんことを清國政府へ申込みたり

●交涉總辦任用（同上）周冕は袁世凱の推薦にて黑龍江交涉局總辦に任ぜられたり

京城電報

●統監謁見奏請（七月卅一日發）伊藤統監參內謁見の事に關係せし近親の處分及び內政の刷新に就き奏請したる所韓帝より直に勅語あり朕は統監の韓國に對する熱誠に感じ一意卿を信じ事を圖れば日本皇帝陛下に於ても亦聖意を安んぜられんことを希望する旨御言ありたり

雜報

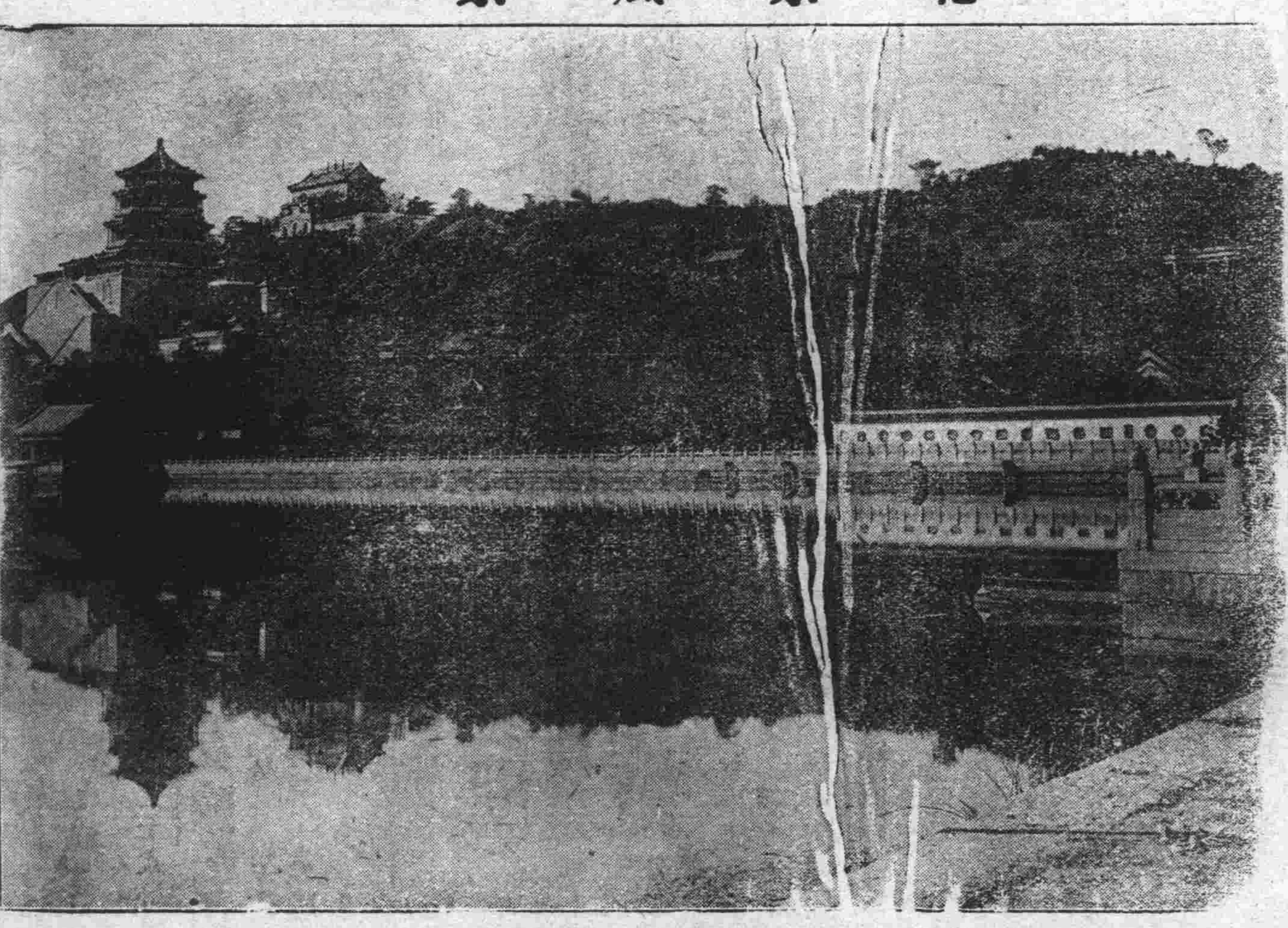
●山陰行啓に就て　皇太子殿下には山陰道行啓に就き桂東宮侍醫は還艦率下檢分として出張せられしが元來同地方は有史以來行幸ありしは後醍醐天皇の隱岐に御幸あらせたるのみにて全地方の臣民は從來屢は行幸を願ひ出でたるか今回行啓の仰出であるや全地方の喜び一方ならず歡迎の準備に意を用ひ競りて殿下を各地方に迎へ奉らんと知事郡長地方有力者等は東奔西走せる有樣なるが戰時税を負擔して財力疲へさるに更に奉迎の爲に巨額の資を投ずるは殿下の思召しにも副はざる次第なれは交通機關の設備等完からざる地方は却つて殿下奉迎の爲め特に多大の經費を投するか如きは彼らに地方の民力を疲弊せしむるを顧慮まし今回は是等の地方へは御立ち寄りあらせられさるやに承る

●內務省の行賞　內務省に於ては所管吏員の明治三十七八年戰役に對する行賞調査中なるが官公吏を除く外一般人民の特別なる後援事業に對しても近々行賞を爲す筈にて目下其調査中なりと

●香取鹿島の着期　戰艦香取は去る二十二日古倫母を新嘉坡に向け直航したれは二十二日頃全港に着すべく又た鹿島は豫定航路を變更し古倫母より橫須賀に直航することゝなし目下航海中なれは今月五六日頃には橫須賀に到着すべし香取も新嘉坡より直航の筈なれは上旬に橫須賀に着すべし

●兵器製造機關擴張　我國に於ける兵器製造機關の規模狹小なるは由來大陸軍國としての所要と面目とに適はさるものあり幸に日露戰役の大事は之を經過することを得たりしも今後に於ける兵器復舊、兵器改良等の諸大事業を初とし將來に於ける兵力の增加と戰資を無限に豐富ならしむへき必要とに對しては到底現時の如く機關の微力なるを許さゞるものあり明年度より開始せらるへしと謂へる軍備擴張案中には戰時中軍事費を以て隨機的一部の施設を加へられたるものを包含して大に兵器製造機關の擴張は計畫せらるへしと云ふ

北京風景　《萬壽山》



●露國の極東軍備　露國政府は今回バイカル湖畔に一大兵機製造所を設立し極東駐在軍に對し兵機供給の中心點となすに決したりと

●貴衆兩院豫算決定　明年度貴衆兩院の豫算は此程決定して既に大藏省に廻送せる由なるか衆議院は本年度に比し約三四千圓の增加なりといふ

●遼陽貸下家屋税　遼陽城外貸下家屋中二十四戶は其筋の必要上還附を命せられ一時大恐慌を惹起したるとありしも其內二戶の移轉を見たる外其儘現狀を維持するとせ爲れるが此に又再恐慌ともいふべきは昨八月一日より貸下料を改正して數倍高税率と爲したるとにて家屋の種類位置により特等、一等、二等、三等の四級に分ち西門外筋即ち目貫の通筋に於ては五倍其他は大抵三四倍と爲るに至れるを以て各戶共其負擔に堪へ切れずとて皆々該謝を爲し家賃值下げの嘆願を爲すとし居れる由なるが元來同家屋は占領家屋の據砂して自由に其へさるものを各自借受の勝手修理を行ひ居たものなれば今日に於て遽に貸下料を引上ぐるは少しく其當を得ざるべきかとなり

●電氣鐵道の布設　新市街地の設計已に成り築造工事着々進涉するに付いて營口市街の縱長は約二倍することゝなり交通機關の不備を感ずる事漸く切なり今聞く所に據れば三井物產會社の遠藤藤三郎氏は先きに牛家屯西營口間の電氣鉄道布設を出願し今回愈々其筋より來る十一月までに起工の條件にて許可されたりと云ふ

●郵便局長の更任　現任牛莊郵便局長前田振次郎氏は今回歸朝を命せられ通信事務官補村田信太郎氏後任として不日來着の由なるが同氏は關東總督府郵便部監督官たりし人なりといふ

●與倉事務官の歸署　用務を帶びて旅順に出張中なりし與倉中佐は井戶川少佐黑澤鹿台氏等と共に今朝歸署したり

●瀨川領事の歸營　瀨川領事は過日來十管内の遼陽地方巡視中の處今朝歸營したり

●修學學生の來營　豫記の如く昨一日學習院、文部省直轄學校生徒八十餘名來着例により軍政署の案内にて市中を觀覽せり

●支那通物語（五）

茶を出されて最も禮い時は離坐起立兩手で受ける、此れは茶をみてな作りの時でも必要だ、部下の者には略して片手にする丈けた、謝意を表する時も頭を下げるよりも兩手を擧りて捧持するなど是れは拜を行ふ意る、支那人には此拜と讓との外持で應對すれば無言でも禮に足りるのだ、日本人が畳の上で坐つて居る時支那人のボーイ等か起つた儘で物を言ふと叱るが彼等は是れ敬意を持て居る積なのだ、双方坐下すれば對等になる譯だ、茶は中以下では彼の大碗で屢々勸めるが上流では茶の付いた中碗へ茶の葉を入れて一杯切出しておく話が濟んでイザ歸らうと途端一寸口にするを合圖に供揃の用意がされるのだ、畢竟茶を呑むのが訪問した家を辭するキツカケになるのだ。

禮儀の六ケ敷いのが變裝者には一番禁物だ、ボロは此處で出るので慣れないものは廟宇官衙、婚儀、葬式、等には絶對的立寄れぬ止を得ぬ時は間際で腹痛でも起すのだ、老人は尊重すべしだが、婦人は敬遠すべしぢや、親友の妻女ですら邂逅して寒喧一つ述べぬ習慣ぢや、見ても見ぬ風せねばならぬ、或は接見の場合があつても態度は十分謹直の上、言葉も注意せねばならぬ、卑陋な言は固より之れに似た音聲も使へぬ、或人は鼻といふて失敗した、或人は又你有猫（毛と同音異聲）沒有といつて某夫人の赤面を佔ふた。

變裝者が看破さるゝ恐れのあるのは日本通の支那人に逢た時だ、若し失敗に近づきたる時は已れも亦日本通の一人にして日本の婦人を娶れりとか日本に遊べりとかいふて自身の日本臭い所に理由を付けるか、然らずんば正反對に大の日本不通の態度を取つて初心らしく日本製の物品を珍らしがり日本婦人の情態を問ひ時々は日本の惡口をもいふ、支那小說等を插さて其談話を避けると同時に外國人ではアレ迄と思はせるのも一法である、聖書を取出して弟は耶蘇教信徒ですとすましてフン成程と合點さするのも一方便である。（完）

寄書

●滿韓見學の學生諸君に望む

濟々たる多士異日文王の柱石となるべき大任を有する青年諸君！余等は諸君が萬里の滄溟を蹴破り來りて滿洲の野に風餐露宿するの壯擧を中心より欣慕する者なり隨て亦諸君に求望すべきもの一にして足らず

諸君既に見學として來遊したる以上乞ふ仔細に百般の事物を觀察せよ決して疲衰の眼を以て觀る勿れ烱眼巨目を以て見よ然らば妙趣は自ら其眼睛に映じ來らん

諸君行を啓き門を出づるの時に當て意氣滿韓の野を呑みしならむ乞ふ旅行中は寸毫も其意氣を減耗する勿れ仔細に點撿し綿密に探究せよ疲勞困憊の餘雲烟過眼視するが如きことある勿れ

其の研究の事項に付いては諸君に於て夫れ〲腹案あり又指導者の示教もあらん夫れ等は余輩の呶々を要せざるなり

ア、旅順の山奉天附近の大平原は諸君が必ず肉躍り血舞ふの處わらむ余輩亦當時を追懷して筆端響あるを覺ふ（霧東生）

日報俳壇

ゆき足らぬ老措大の單衣かな　牛百
夕納涼天草なまり京こと葉　老兵
毛虫多く葉疎に桃累々たり　稻波
風に散るかれ葉の裏の毛虫哉　木嬰
香灶いで蚊帳に伽する老女哉　古江生
停車場の上下の客やなつの月　千曲
祇園會は紅白粉のまつり哉　甫人
短夜や鷄なく空にのこる月　翠海
老か身の聲高くなす納涼かな　小僧
棕櫚竹の晝のそよきや青簾　稻波
背男あらはれ出たり青すだれ　木嬰
要飯的陣徹したりはたゝかみ　老兵
墨なめた蠅をこはかる書院哉　甫人
蝸牛母なく子なき妾なり　古江生
すわりたる鯨あり〲と棚單衣　牛百
いひ象し話にまはす團扇かな　小僧
涼しさや川見て居れは小魚浮く　千曲
暗がりに行水するなんおんな哉　醉雨
晝顏や誰か果なきものに見る　野梅
青簾十路盤はちく聲ずなり　同

新作小說　**おとし胤**　徳田秋聲

六十六

光は莞爾して、

「い、ゑ、默ツてゐるといふ譯ぢや無いんですけれども……」と羞むでか、顏も擡げ得ないで「此うして、何うなるのでございませう。」

「何うなるとは？……　何がです。」

「私等は、あの……」

「あゝ、其の事ですかふゝゝゝ。」と熱田は笑出して、「そりや何んとかなるでせう。貴方は、海鹿家を相續なさらんければならんのですし、私は、熱田の家を嗣がなければならんのですから……そりや困難は困難です、雖然事には破格といふものがありますから、去來となつたら、何うかなるでせう。何有、其樣なことは深く心配しないが可いのです。」

「ですけれども、私、それが一番心配になるのですもの。」

「馬鹿なことを有仰い！　今から其樣なことを心配して居て耐るものですか。それよりは、此うなツたら、私等は、何うしても他に悟られないやうに氣を付けるのです……殊に父樣には、餘程氣を付けてゐなければなりません。子爵といふ方は、なかなか眼の鋭い方ですから放心してゐると、直に悟られて了ふ……可いですか。他の前では飽までも、他々しくしてゐなければなりませんよ、可いですか。」

これが、熱田が光の手を把ツてから最初の宣言！……光は、ま、何んといふ艱しい事だらうと思ツた。

「いや、能く來て下すツた、もう徐々政事時期に入る時分ぢやから、お忙しいことぢやらうとは思ツたがの、兎に角招待狀だけは差したぢや。」

「有難うございました。私も一度お訪ねしたいとは思ツて居ツたのですが、例の其の滿洲視察やら、歸ると直に那の內訌騷といふ始末で、甚だ御無禮致して居りました。」

「あゝ、內訌騷と謂へば、內訌も何うにか片付いたやうぢやな。貴方の手腕ぢやから當然の事ぢやが、兎に角左程の破綻を見ずに濟むで結構でしたわい。」

「それでも海野斯波を頭に、七八名の脫党者があつたですから、餘り好い手際ぢや無かツたです。何しろ議會も間近になツてゐるですから。」

「併し何んぢやらう、党の爲からいふと、那の異分子に去ツて貰ツた方が可からうでは無いか、我が輩は統一上寧ろ好都合かと思ふのぢやが……」

「それは大に然うです。固々那の連中といふものは、或る利害關係から結付いたので、決して我が党と生死を共にしやうといふ意氣も無ければ貞操といふものも無いのですからな。併し何んです、此の場合になツて脫党者を出したのは兎に角我々共の不手際と謂はんければならんのです。」

「ま、然う謂へば然うかの、時に今度の議會は何うぢやな、好い加減に此の、非立憲內閣を倒して貰はんと、議會の威信に關するといふものぢやがな。」

「御說の通りです、雖然今度の議會も亂戰でせう。政府ではもう、手の廻せるだけ手を廻して、纔に議員買收を行ツてゐるですから、去來決戰となると大勢は何樣なものですかな。成算歷々と謂ひたいが、……何うも何んです。何しろ非常な苦戰です。」

廣告
白米、醬油、味噌、木炭、酢、淺草海苔、罐詰、乾物、日用
永世街第廿八號
[illegible]洋行
軍隊用雜貨　日用品雜貨　吳服太物類　卸小賣
營口永世街七十號（第二市場東）
[illegible]商店
淡谷
本號開設營口東青堆子發貨栢木方料 [illegible]

晴

自二十八日午後六時
至二十九日午後六時

社告

一週年大福引會豫告

今回本社創刊第一週年記念として聯讀者諸君平素の御眷愛に酬いんか爲に大福引會を催し多數の讀者に一人も漏れなく景品を贈呈するの方法を採ることに致しましたその景品中の重なるものは

一等　金時計（天賞堂保險附）　一個
二等　貴婦人用帶地（白木屋呉服店）　一筋
三等　純金指環（大西白牡丹製）　一個
四等　上等洋傘　一本
五等　縮緬兵兒帶　一筋
六等　縞毛布　壹枚
七等　フランネル單衣地　壹枚
八等　勸業貯蓄債券　壹枚
九等　卷煙草入　壹個
十等　言海　壹部
（十一等以下は漸次發表します）

等であります、月極讀者は勿論今後滿一ヶ月以上本紙愛讀の方には周く福引券を配布します、景品陳列及び抽籤方法等の巨細も亦追ふと我紙上に掲げます

有志家寄贈副景品
▲白米　一俵　第三樓
▲八丁味噌（大樽）一丁　金城館
▲手拭　十反　日本館
▲エジプト紙卷莨五箱　第一樓
▲濱縮緬上等兵兒帶一筋　奉天金城館
▲臺灣製夏帽子十個　醉花園
▲玉突券五十枚　第二軒
▲平野水四ダース二箱　東邦亭
▲エジプト紙卷莨二箱　三日月樓
▲澤庵積一樽　公樂園
▲麻製ハンカチーフ五ダース　東雲館
▲麻製ハンカチーフ五ダース　大和館
▲敷島紙卷莨二十入三箱　萬直し
▲上等西洋料理券三枚　牛荘ホテル
▲リンネル上等洋服一着　富永洋服店
▲上等セル地婦人單物一枚　祇園閣
▲置ランプ三個　三友洋行

滿洲日報社

雜報

●大石橋のモルヒ子心中
男はこと切れ女は蘇生

未開末開とあなどつて居た滿洲も內地風の吹き廻して粹な所となつて、こゝに心中の趣味ある出來事こそ起りたれ、事は去る廿九日の事なり元陸軍看護長にて新潟生れの本山喜久藏と云ふは除隊になりてより尚滿洲にとゞまり大石橋病院の雇員として何不自由なく暮し、近來は寫眞道樂なと初め友人と共同して寫眞屋を開業して居て常ゝ酒も飲ます、あまり女にも手を出さす、とかく堅氣なりし故仲間のはめられ者なりしかふとせし事より或る料理店の女と中よくなり時折往來はして居たれど、人の見る目にもさまて立たさりき然るに廿九日の夜は同居の寫眞師も旅行して居ず、夕方よりは女の方で遊びに來り、別に事變りたる事もなく隣人等は知りもせさりし程なるか翌朝は日か登りても音沙汰なきに隣人の一人が這入りて見ると、二人とも息絶えて居るので驚いて醫師を呼び應急の手あてをほどこしたれど、男は多量に飲みしためか取りとむる事能はす、遂にかの世の人となり女は漸く蘇生さする事を得て當時大石橋病院に入院治療中なる由、多分生命には別條なかるべしと、この原因に付ては種ゝ複雜なる事情の之れある由なるも今に分明せず目下其筋にて調査中なれば詳細は精探の上報道すべし

●自稱好男子の夢現　昨秋頃永世街に雜貨業を營める十八世紀の自稱好男子の旦那と云へば直ぐわかる鼻下にカイゼル髯を蓄へ營口一の紳商とぞ誇れる田中とか云ふ男此度友人某なる者を利用して某所の請負業をなして一攫千金を得んとの前祝ひに鬼の首でも取つた樣に同類二名誘ふて元舳廟街の松廼家に押上り飲めや唄への大亂痴氣の揚句いざ是れより醉月にと進めの號令諸共に同類及び二〇加、牛莊の兩拍子に取まかれて醉月樓にぞ登樓しける、かくて例の自稱好男子の先生は友人に其れ〳〵敵娼を見立て巳れは同樓の姥櫻日露八を敵娼になして又もや第二回の大亂知氣を演じたる末連れ立ちし兩拍子を返して室入りとなりてより日露八の口說遂に自稱好男子先生の骨髓に徹し明けの烏の憎くらしく〳〵ヘヤカア〳〵とつれなく思程に倘も心にしみじみと思ひを宿したるハイカラ先生は歸らふか留らうかの思案半にズドン一發最早正午の號砲に浮世の義理に一先歸りしか今にまだ日露八の口說か忘れ兼ねしと見え今日此頃の暑さにも負けやらぬ熱度の先生いよ〳〵以て鼻下一千丈每夜〳〵日露八の許に通はんすがさてもく〳〵捨てられぬ中は目は醒ぬものかな

●遼陽花柳業者の賣上　夏向は花柳業者の不景氣時期とて客足鈍くなりたるより遼陽六月中の賣上高は例月に比し殆ど一万圓の減少にて計三万九千四百八十二圓四十二錢なり之を五月の五万七千七百八十六圓余四月の四万九千九十七圓余に比するに逐月遞減の觀あり是れ氣候の支配するによれるは勿論なれど要するに一般人心の緊肅する等其原因なるべし今千圓以上の賣上高ありし店を掲げんに二千八百五十六圓遼塔ホテル、二千五十三圓遼東館、二千四十五圓藝陽亭、二千三百六十二圓東洋館、千三百三十九圓滿洲ホテル、千百六十九圓東肥館、千五百五十八圓玉家、千二十八圓吹寄、千百三圓氣休、千七十二圓塔陽軒、千二百十圓塔下園、千三百七圓滿洲館、千五十五圓盛進館、千二百二十七圓氣はらしの十四戶なるが是によりて見るに現在四十九戶の料理店を通じ一日八百五十圓七十六錢三厘强の賣上を示し遊客數一万一千九百九十一人に對し一名の費消額は三圓四十四錢五厘なりと云ふ

●遼陽遠山館の一旗色　此度新に開業したる同地の遠山館は瀟洒せる十一ヶの客室を有し多數美形の新來と藝裙を加へたれば粹人のよだれも長かるべし尙同館の一旗色と見るべきは一棟は純然たる西洋料理室に充て一皿にても需に應じ至極輕便に顧客を遇する由なれば散策の序一餐を試みるに適しコツタも新來の本場ものなりと言へば美啖家をして滿足せしむるに足るべしと

●營口佛教婦人會例會　同佛教婦人會にては明三日午後一時（營口時間）より本願寺出張所に於て其例會を開く由なるが當日は松井醫學士より水の清淨法に就て最も有益なる衞生談話あり終て顯微鏡に依りて膓窒扶斯の黴菌を示さるべく又寺本布敎師より「救の光」なる演題にて一場の演說あるべしといふ因に同會は目下會員四百名に上り與倉長官夫人も名譽會員に加入せられたりと又同日出席の會員は會則により總べて綿服を着用すべしとなり

●素謠會　來る五日午前八時より青堆子朝日館に於て營口天狗連の素謠會を催す由にて當日の番組は加茂、俊寬、蟬丸、淸經、三輪等にして同好の士は何人にても飛入勝手たるべしと因に會費は二圓なりと云ふ

營口雜觀

雨に忙はし

流行

▲流行の夏帽子　現今流行つて居る夏帽子はパナマとムギワラとであるか元來パナマ帽子は變化かなくて流行として數へられる位はない、それて夏帽子と云へは必ずムギワラで無ればハイカラてない、所てムギワラ帽子の形は如何かと云ふと山高のつば狹てあるか昨年あたり迄の樣につばの極く狹いのは流行せぬ、普通一寸六五分から二寸迄まりてある、リボンの廣さもあまり狹いのはすたれて約山の高さの五分の二位てある、次に編方は極く小さくなつて目の細かみか全盛をきめて居る、それとリボンの色合も黑か多いけれど茶も相應に流行つてハイカラ連の受けかよい價は普通二圓迄まりである

▲流行の靴　靴は今日ては「あみ上げ」形か大流行て變形とか深ゴム等は少しすたれ氣味てある、あみ上けにも數種類ありてマツキンレーとグリンレーか其內の覇王てある、これは別に非常の差別とてはないか底の切り樣て區別されて居る、皮はやわらかな光澤のあるキツト皮て佛蘭西皮等は全然勢力をうしなつて居る、白のヅツク靴等は流行つて居るか、これはほんの一時的のものに過さない、キツト皮の靴て價は普通は八九圓から十圓內外てあるか、機械製となると手間か省けるので少し廉價て六七圓からある

婦人の靴は同じ樣に近來は「あみあけ」であるし「リボン付」だの「ぼたんどめ」だのはまるですたれて居る價は四五圓より六圓位かとまりてある

投書かご

▲男てさへ浴衣着素足の出立ちは見好いものてはないのに、まして女の亂れ髮ふりさばいて細帶姿て大道をねり歩行は實に見つともないものた僕は見るたびぞつとする外國に居ると云ふ事忘れないてチト注意してもらいたいね（春濃）▲私は此頃來た理髮屋てすか營口の散髮代の高いのには實に驚きましたそれて邦人の便利を計るためも少し廉くて開業したいんてすか、自由には出來ぬものてすか（新散髮家）▲此頃女共か〇〇〇の御役人樣と關係して其御威光てだゝこねて仕方ありません現に金城館の金玉なとは〇〇〇の御役人の〇〇とか云ふ人と關係つけて種ゝな事て擾ヨを困まらするそうてすチト其筋の御注意をねかい升（〇〇生）▲穴澤精逸氏を尋ねる者に告く子は來滿以來氏とは非常の親交をなせる者なる故其住所は勿論總てを熟知す詢問者姓名を知らせよ直に報知す（悉知生）▲土木請負業者の田印は實に失敬な奴て又實に不人情極まる奴てある、螺ばかり吹いて人の迷惑等はチトも考へもせぬ最少し改めぬと退居命するぞ（迷惑生）▲僕は或時先輩の一人に向ひ滿洲にて心神を慰藉するには何てあるかと問ふた所か彼答へて曰く酒可也女好矣と滿洲經營の先覺者蓋如斯　乎嗟嘆……（春濃）

廣告

營口　周　西北街　裕和盛　電話八一
雜貨　洋酒　煙草　卸シ　小賣
鑵詰　紙　化粧品　特ニ安賣
大連　南洋　湖北彩票販賣
東清鐵道　遼河貨物運送

營口　三友洋行雜貨部廣告

新荷着
高等化粧品各種　新柄ネキタイ
旅行用鞄及靴　氣發油ランプ
新形夏帽子及鳥打帽子　各種
雨合羽　長靴　姿見鏡
四季造花
御婦人用小間物

對譯清語活法　全
附錄　支那時文速知

イロハ索引附　袖珍用旭皮表紙頗る美釘紙數三百餘頁（定價金五十錢　郵稅金六錢）
此書は著者來原慶助君が曾て陸軍通譯官として黑木軍に在りし際の陣中著述に係り高評嘖々たるは已に世人の熟知せる處刻下滿洲各地方に活動せらるゝの同胞諸君乞ふ一本を備置せられんことを

小繙　來原慶助君著
發行處　東京市神田區裏神保町一番地　三省堂書店

支那叢書第壹編　支那政府組織　全（定價一圓）
清國の情況を知るは現下の急務なり清國の情況を知らんと欲せば先づ組織の眞相を知らざる可らず老帝國政府の眞相を知らんと欲せば乞ふ斯書を一讀せよ
軍人諸君には特に一割引とす部數に限りあり至急御申込あれ
販賣所　營口重盛街　滿洲日報社

和洋會席　御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
營口永世街二本町　日本館（電話百三十）
各位樣

硝子、陶器、藥種、雜貨、質商、魚菜、ラムネ、檸柑水製造販賣並に淸酒金水、龍印特約一手販賣其外洋酒類
特にラムネ及檸柑水は夏季の飲料用として原料を精撰吟味す
遼陽西門外　林洋行

歐米各國最新流行形　西海洋服店
永世街一四一（電話二百十七號）（森病院三軒目）

官准老牌

登録商標

桂林

神効臭蟲藥粉

各國大博覧會名譽賞牌數個受領

另名驅除諸蟲藥粉

(藥價) 毎罐洋、一角

購置者宜保置於乾燥無濕之處以防過濕氣

大日本始祖 發售本舗 大阪伏見町堺筋東入(電話東二四六六番) 清水桂林堂藥房

代售處 營口永世街 回天堂三木大藥房(電話百九十番)

同 遼陽西街 足立大藥房

本堂鑒製神効蟲藥粉驅除、臭蟲、乞蚤、虱子、紙蟲、蝎等一切毒蟲効驗顯異常眞有出之妙藥也即床蝎、牀棚、衣架等之處撒此散所有毒蟲立皆斃死又有家畜如猫狗鳥類又各種毛皮毛絨等若蟲害死又擦入此散置入於羽毛中之蚊蟲蒼蠅等聞之或斃或逃矣然人吳食之毫無貽害眞居家行旅不可欠之神散也

醇良日本酒

孔雀印平野水

サッポロビール

大販賣 和洋雜貨 洋酒化粧品 酒類 食料品

千賀洋行 奉天鐘樓南大路西

千賀洋行支店 奉天小西關大街路北

○板材木 ○金物類 ○疊建具 ○椅子テーブル ○洋燈類 ○鰹節雜魚 ○酢醤油

○蚊張 ○金庫 ○花蓙 ○ペンキ ○文具 ○紙類 ○罐詰

○其他雜貨色々 新荷着大安賣

(石) 營口西北街 石光洋行

遼陽西門外 石光洋行支店

氷

田庄臺大盛貯氷公司

發賣元 營口元神廟街成功號三階(電話一三四) 田庄臺大盛貯氷公司販賣部

特約店

大連信濃町市場前 大原商店

營口二本町 丸山氷室

營口永世街 衛生軒

營口永世街平野町角 山田氷室

營口第二市場前 松木氷室

廣告

高等麥酒スペシャルライト

スペシャルライトは東洋に於ける外國製麥酒を驅逐せんが爲め特に釀造せるものにして原料精撰風味高尚夏季唯一の好飲料たるは世上已に定評あり

本月一日より麥酒取引は一切現金にて御願申上候

六月

釀造元 營口元神廟街 大日本麥酒株式會社

滿洲一手販賣店 關東公司雜貨部(電話五番)

分店 奉天四平街電話十三號 關東洋行

土木建築用諸木料 板硝子類 マルソイド便利瓦 九州セメント オールドスコッチウヰスキー

廉價販賣

營口靑堆子綏定門外 志岐組商業部

土木建築並ニ測量設計請負

營口靑堆子綏定門外 志岐組

今般其筋の許可を得左の處に於て精良牛乳販賣仕候間多少に拘らず御試用の程奉願候

元神廟街二四九(電話二番) 精乳軒牛乳販賣所

祝開業一週年

弊店儀皆樣の御引立を蒙り日に月に繁昌仕候段難有御禮申上候就ては今回開業一週年を期し内地より藝妓仲居新顔を呼寄せ座敷等も閑雅に夏向は殊に納涼に適ふ樣大に改良仕明二十六日より來八月八日迄左の方法を以て御客樣の興を相添へ聊か平素の御愛顧に報ひ度候間何卒御誘合せ御光來の程偏に奉願上候

福引會席御料理、壹圓

左の十二月に分ち御引出の籤に當りたる月に依て差上可申候

正月 ビール二本 會席五品 藝妓一時間
二月 會席五品 御酒一本
三月 ビール一本 會席五品
四月 會席五品 御酒二本 敷嶋たばこ一
五月 ビール一本 會席五品
六月 ビール二本 會席五品 藝妓一時間
七月 會席五品 御酒二本 敷島たばこ一
八月 ビール一本 會席五品
九月 會席五品 御酒一本
十月 ビール一本 會席五品
十一月 會席五品 御酒二本 敷島たばこ一
十二月 會席五品 ビール二本 藝妓一時間

月 日 營口豐濟門街 柳亭

祝開業一週年

遼陽兵站業務取扱所御指定旅館

遼塔ホテル 遼陽城外喇嘛塔下
遼東館 仝城内西街
滿洲ホテル 仝城内西街
浩氣館 仝城外喇嘛塔側
藝陽亭 仝城外西門外通
遼陽館 仝上
東洋館 仝城内東街
滿洲館 仝城内北街
梅廼家 仝城外西門外通

◉煉瓦販賣

上リ竈ニテ日本人ノ製造シタル堅牢ノ煉瓦ガ御望ナレバ當洋行ニテ御需メクダサイ

二本町 高坂洋行 煉瓦製造部(電話九十番)

御料理三河樓支店旅館

弊館は奉天城外十間房第三區景美なる地にありて最も納涼に適す今般業務擴張と同時に宏壯なる日本家風の二樓屋新築し樓上等も暑に應ずる設備致置候間續々御光來被成下度伏して奉願上候以上

樓主 川上總吉

改名 業務擴張廣告

御料理旅館 東來館(元吐月改め)

遼陽陳家街破水門より東へ入る右側

今回元吐月を東來館と改稱致候に就ては萬端を刷新すると共に業務を擴張し精々勉強可仕殊に御料理は輕便を本とし時節柄一層吟味調進可仕候間陸續御來館の程奉希候

料理店 滿月

平野町(電一六二)

滿月支店 平野町入口

主 店 青木勝惠

御料理旅館 扶桑館

奉天六西關大什字街第五分局千〇六十八号

館主 堀田ハル 電話 号

開業御披露廣告

遼陽城外西門外街西へ入 和洋御料理 遠山館

今回皆樣方の御勸により遲れ勝に開業仕候へ共料理と勉強美形と待遇とは決して遲れぬ樣にと精々注意可致殊に一棟は西洋料理室の專用に充てコツクも本國新來の腕利を雇入れ候へば美味は受合且輕便を旨とし一皿にても貴需に應ずべく候條陸續御來館の上御試し被下度奉希候以上敬白

資本金參拾萬圓

日清合股

(昌) 滿洲昌圖 株式會社 營口分局

營口元神廟街第貳九八號

總局 盛京省昌圖府東街

既設分局 牛家屯車站、昌圖車站、四平街、通江口、大連、遼陽

本公司經官准認眞開辦左開生理

一、東清鐵道轉運
二、昌圖以北馬車運送
三、轉運貨物保險
四、抵貨匯兌
五、各支店所在地棧房

兼辦關内外鐵道又海外轉運(與大淸通運公司連接)東清鐵道沿路兩要各站分局現方在設備中倘蒙遠運貨客愛顧務祈貨客親自到本眼房及各處分局眼房面議爲要謹白載路途倘有水濕毀壞短少等之損傷本公司言明按卸地市價包賠此

新荷着

裝飾用品 洋食用品 肉碎器 秤卄六貫以下種々 手提金庫 コッピー用附屬品

窓掛及附屬品 夏帽子各種 戶田式濾水器 宇治新茶 ワイシャツカラー及 學校用文房具各種 各種複寫簿

關東公司雜貨部(電話五號)

病室增築輕便入院

是迄病室少く多數の貴需に背くを遺憾とし今回更に增築し輕便を悉切を主とし一層院務を擴張し汎く專門の功果を收とす

○○○全身魔醉○局處魔醉○○○嶄新器械○無痛手術○

梅毒婦人科專門 外科胃腸病 日本醫院

東洋雜貨 貿易賣買 加藤洋行 東海關後街

本行 天津 營口 分行 北京 大阪

牛莊松岡病院

内科 外科 眼科婦人科診療 入院治療を諾す

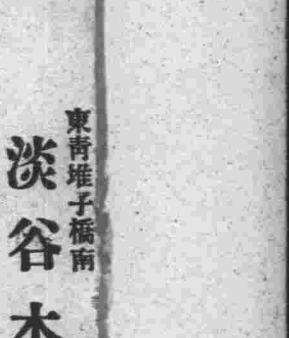
殊に外科は無痛手術を施し梅毒淋疾痔疾皮膚病耳鼻咽喉諸疾は嶄新根治的療法注射療法或は血淸療法を施す

元神廟街第百三十四號 全科醫士 松岡玄雄(電話一五一番)

東京タクアン 其外和洋酒類（無比廉價販賣す）

陶器類 食料品類 其外新荷着精々安價販賣

東青堆子橋南 淡谷木局



昨日の氣温 最高温度八十六度二 最低温度七十四度一 昨年より 低六度一 高五度一

宮門抄

初四日

商部 鑾儀衛 廂黃旗值日無引 見
恩假滿請 安 澤公尚其亨到京請 安
江寧協領吉林謝 恩 劉能紀謝襲一等
男爵 恩
召見軍機 澤公尚其亨
商部遞封奏二件 澤公遞封奏一件

論說

論中國無不立憲之理（朱 淇稿）

今之欲保全中國者。無不盼望立憲。僕以爲不必盼望也。中國今日。尚非實行立憲之時期。而十餘年後。則中國決無不立憲之理。無論 朝廷詔許立憲。中國之憲政固立即 朝廷不許立憲。中國之憲政亦必立。除却此十餘年間。或亡國或瓜分。不能延中國之命。至十餘年後。則不在此論。否則十餘年後。雖有梅特涅之强硬有材。亦決不能阻憲政之成立也。蓋所謂立憲者。許人民有參預政事之權也。人民而有參預國政之權。則雖無立憲之名。而已有立憲之實矣。今之政府。非猶是專制時代耶。而國家每有大政令。地方每有大利害。則各省各埠之紳商。與各處，留學生。皆紛紛電達政府。而干預之矣。政府而許我干預耶。我固干預之。政府而不許我干預耶。我亦依然干預之。十年以前。中國無此風氣也。但今日風氣初開。社會之團體尚未團結。故干預國政之人。居其極少之數。人少則力薄。故政府可以將其來電置之高閣。而不聽之。十餘年後。風氣益開。人民皆有國家政治之思想。社會之團體益大。吾恐此時。政府雖欲不聽其干預而不得也。夫人民猶子弟也。政府父兄也。子弟當幼稚之時。則以一父兄專制數百之子弟而有餘。而及其子弟之長成。有學問。有見識。有材藝。當此之時。而父兄猶欲以壓制手段。不許子弟之稍有自由之樂。則家庭之中。必有鬩牆之慘也。今日中國人民之智慧。尚在幼稚時代。即政府明頒立憲之詔令。而專制之實權。仍不致旁落之虞。蓋政府雖許人民之干預。而此時人民。實未有干預國政之資格也。待至十餘年後。則決非今日之比矣。故今日而速行立憲則人民智慧未開。憲政之如何立法。可以由政府主之。故今日立憲。則可以用君主立憲之法。如日本然。或如德國然若待至一餘年。或二十餘年後。爲全國人民逼迫。而始行立憲。則其憲法必不能用君主之立憲矣。甚或如美法等國。共和之立憲焉。輕亦如英之立憲。名曰君民共主。而民權必重於君權矣。日本之明治大皇。眞能見機於未萌也。此可師可法者也。

北京電報

俄國擬設領事署（西七月三十一日發） 自開埠奉天以來日本已經首設總領事署次美國亦選仕領事 而俄國亦擬設領事署於奉天省城以便辦理各項事宜聞近日遂以此意交涉外部云

●調任交涉局總辦 前任哈爾濱交涉局總辦周道冕 此次因直督袁宮保之薦特選任黑龍江交涉局總辦不日當即履新云

東京電報

參謀總長新任（西七月三十一日發） 自兒玉大將薨逝以來闕參謀總長者有日于玆矣刻日皇特下優旨以軍事參議官男爵奧保鞏君爲參謀總長襲仕其後云

●關東都督回任又行約期 關東總督大島大將今猶在東京未即回任前聞不日已將東裝就道現又約期刻尚未卜起程定日在於何時云

中外要聞

●粵海盜猖獗 粵省西江海盜橫行英紳頗動公憤一事已據滬電登錄前報玆據西報云海盜風潮勢極猖獗現有盜魁於襲擊輪船暹那木號之際已經偵察有官船裝載彈子九萬八千枚快槍若干立時襲擊將所有軍械搶掠一空聞英艦羅敏號止在前往偵察之際云云按東三省之地胡匪跳梁殺人掠財禍及外人遂致外人藉口爲要挾地步愛國之士均慨之也乃今粵省海盜又不靖如此願有地方之責者亟力剿除以靖海面而免惹後患也

●俄人干預森林事 聞黑龍江署任將軍程雪帥致政府電爲華商在呼倫設立森林公司俄人藉詞干預阻採林木遂求應由中俄合辦當以江省森林華商有採伐之權向俄大臣濶米廓爾據理聲明拒絕乃俄商嘵嘵再三阻撓於我國林業利權大有妨礙請示辦法並請由部照會俄駐京欽使理論

●法國派印度支那銀行總辦 法國印度支那銀行現已購定長安街北京飯店作爲基址而該銀行總辦係前任駐京署理星使買斯那此次由法國政府已經簡派辦理該行一切聞買斯那刻已至滬不日來京開工興築矣

●山東小清河航路已通 山東官民前因德國經營鐵路恐其獨占利益籌議集款開濬小清河以爲抵制此項工程近已告竣小清河輪船公司已於某日賣票開班

●閩督維持樟腦利權 駐京英使前曾照會外部云福建省現已開設官腦局定樟腦專賣權不准英商入閩販腦頗有妨於英國利權並不與公法相符請飭閩督停辦等語當由外部電詢閩督據閩督復電云閩省開設官腦局專賣樟腦不允洋商販運係我國應有之權利與他國毫無干涉雖有妨於英國利益萬難停辦如此後其餘各國照會大部要求停辦務請據理峻拒以保主權

●日本允撥款在奉天興造賽會房屋 捷報云日本官員從商會中六人之請允撥欵八萬元在奉天建造賽會房屋定於西十月間舉行期以二月後將其屋改爲商品廣列所

●江督派員赴蘇商辦假幣案 現署蘇臬朱廉訪之子私造裕蘇官銀局鈔票一案迭詳各報現蘇州府提訊臬轅家丁柯升實係署臬朱廉訪之戚串當何否生王玉田二犯供出柯升及朱公子後朱廉訪卽將柯升解交柯初不承認旋以廉訪僅庇其子遂將實情一一供出由是三犯供詞相同略謂朱公子嫖欠五六千金無力彌補因起意造此僞票以二十萬金爲度伊等不敢造次向公子索一証據公子遂以藩印蓋就樣張數帋由蘇寄申此第一函也第二函係查問定購若干數及已印就若干張至第三函書令向石印局限期取票如逾期不齊請作罷論等語蓋卽呈案之三函是也問官謂汝等執定朱公子須有的實憑據既稱有藩印樣張曷勿呈案作証三犯稱所呈三函既不作爲証據是須到撫憲堂上撫憲親訊方可呈出三犯又稱鈔票以印爲重設非公子擔承藩印無由得蓋既無藩印票卽無用是無用之票造之何益請大老爺明鑒云云此柯何王三犯在府署研審堂上前後所供情形也問官既通詳後撫憲陳中丞得湖北張香帥直督袁慰帥來電謂是案有關全國大局務請澈究云云中丞因飭該問官錄取實在供詞重復申詳一面飭藩司濮方伯吊取全案卷宗核辦旋聞中丞復得蘇省京官陸尚書等來電痛駁朱廉訪之詳文內有俟新任臬司朱丞寶履任交其訊理云云是殆過於目中無人矣巡撫爲一省之主臬司既應迴避巡撫儘可親提何必俟新臬到任耶應說親提研究如有未便之處當奏簡欽使辦理等語現聞是案將提至撫署中丞親自督審又聞江督周玉帥得徐廣陛等二觀察來覆後復調某某二觀察來蘇會同撫委辦理又聞朱廉訪迭次拜謁督委均未接見而要犯家丁柯升雖羈押府知事署飲食起居安然自得日來久未提審惟因陳中丞曾諭承審官不得含糊了事故亦未敢遽行釋放而朱公子則仍傳粉熏香身穿不男不女之衣逍遙於馬路妓寮之內一若行所無事也者兒傳聞廉訪所上督撫通詳已奉江督周玉帥批回飭承審官集公訊斷詳復並派劉道熙年徐道陛二員來蘇調見陳中丞商詢此案辦法云

●東報辯論西商不滿意於開放滿洲事 上海商人對於開放滿洲事宜頗多不滿之詞東京及大阪各報謂此事務宜體察全局彼之所言未免太過四日俄和約所載撤兵之期以十八個月爲限而今日則祗及其半也至於高麗邊境通商事宜亦嘖有繁言而中俄陸路通商反未嘗有一言提及日本與百萬之師擲二千兆之金元而仍不食其前言故此時不宜出此怨言國民報云日本輔助航業一事不過欲自守其航業而實無攘奪他國航業之意惟我國之人應知爾等不能强迫政府之輔助以爲有無關重要之競爭然西人亦須知日本若不改變其現在所行之政策則不能革除日本之航業云

●俄國工匠復業 俄國窩鐵薩埠罷業工匠再行復業係因俄政府威嚇工匠如不復業卽緝捕若輩一併放逐疆外故也

●英人捐款修鐵路 英人歛杜君遺囑捐款遺產百二十萬磅以便於菲洲振興路政則於羅鐵西亞德領西部菲州葡領東部菲州及自好望角抵桂羅鐵路一併興工爲靈便交通起見也

●新甯縣電稟懇免分割 粵督岑宮保奏割新甯爲兩縣經誌前報現新甯闔縣電禀外商吏部乞免分割該禀如下外務部商部吏部列憲鈞鑒省港各報傳岑督憲奏割下新甯爲廣海縣合赤溪附屬陽江廳原爲分治弭盜起見但於地方民情種種窒礙（一）學堂工藝廠闔縣全力方能組織團體籌辦割縣則解散（二）新甯山多田少凡教荒辦團專賴闔縣旅洋商會合力籌措割縣則力薄難辦（三）新甯現辦鐵路全境交通緝捕亦易割縣則分畛域鐵路難辦（四）新甯大隆峒百峯山賊盜出沒闔縣方設公司招股墾牧以佃丁團禦割縣則公司散况新甯中間山脈橫界郡盜所伏割分上下捕務推諉而盜賊愈肆（五）新甯向隸廣州往省甚便改隸陽江則歸高陽道管轄跋涉遼遠民尤驚恐（六）新甯前因土客仇殺陷廣海衛土人數萬經蔣撫憲勸辦割立赤溪廳安置客人土客始安若合治恐復仇殺（七）殺廣海衛現有都司縣丞分治倘仍有名無實多設一縣官恐亦無濟如認眞整頓似不若在廣海衛設（八）重鎭統帶新練軍隊幷督飭闔縣力辦巡警捕盜較易不至割縣擾民現人心惶惶焦急萬狀不忖冒昧叏撮要電稟懇 俯恤輿情代奏罷割縣之議萬姓沾恩新甯闔縣紳商陳師洛趙宗壇林懋勳李觀國黃蓉第李伯濂伍鳳書陳日禧等仝叩稟 按割新甯爲兩縣早見奏報聞此議倡於署廣東提督李連按諸地方情形諸多窒碍不知何所見而遽倡此議査新甯紳商最有團體觀於新甯一縣之鐵路該縣紳商能集欵至百六十餘萬自行興築無俟外求亦可見其團體之固矣一旦分割則其團體解散甫辦之鐵路必至中輟且一切要政之待擧辦者亦必至互相推諉想政府袞袞諸公或不致准其分割破壞大局也

●美總統主持弭兵 中央亞美利加洲克瓦鐵馬拉國與桑撒爾巴特爾國開戰兩軍死傷頗多於是美國總統羅斯福君居中調停訓令兩國暫先停戰現擬於美國巡洋艦馬曾爾菲杜號開講和會議會克兩國委員妥議弭兵事宜

雜報

●海盜臨決猶狂 前月河北憲兵仝巡捕等捉一投河海賊當經鞫供係小黑山人氏王姓解交河南衙署研訊供認於海外擄刼向兵拒捕幷賍一切全行屬實不諱故於昨日午後臂綁插標赴阜有門西南刑囚塚域斬首以正典型該犯名桂林一出衙門卽酒醉半醺遂沿行街衢又要酒飲迨至南街關帝廟處勢甚頹唐不能步履旁有巡捕二名扶掖而行詎至阜有門下忽若眞魂付體輒振精神大言作狂要人喝采聞其至決坑上跪而待刑而施刑憲兵一擧刀時該犯先自唱采乃刀稍偏落未中頸竅該犯顛踣坑下奈頭未落拽其起枕坑岸猶仰面作狂笑狀致憲兵憤怒急揮一刀頸斷頭落其頸噴血濺汚兵衣憲兵愈怒快其眼剖其腹用刀剸其腔中乃已咸曰該犯必於海外罪孽深重一刀之罪不足蔽其辜云

●充兵獵賄 昨聞埠民傳云前二日由河北適來一人某甲年近而立身扮洋裝衣帽邊幅具有金線洋文自稱直隸常備軍弁員奉上命來埠寫貼店房不日常備軍隊來埠屯駐云云乃向東街車店沿行寫號貼佔該店等皆以屯駐軍隊爲懼更慮有礙生意因私向關說暗納賄金乞免貼號於是甲囊賄充物氣趾高揚幾若該軍之權任其便宜行事不意被人窺破行藏聞前日於某店過二巡捕盤詰僞跡畢露當被暴揑數四聞將執送衙署未悉後如何云

●吞烟遇救 本埠關帝廟前有李十者夫妻度日時常反目於前天李妻忽吞洋烟命在日夕近隣之各處尋藥已不見效後舁至醫院用藥調治始得復生云云

●徒遠遁 昨聞友人云河北下口子地方有學堂生徒與某家之婦因言語不合當向爭論該徒歸校禀於其師將某夫捉至巡警局意將究懲某家姑媳恐不知所爲當夜一婦自縊而斃其子回家草草葬埋是夜某甲手執大刀擕開學堂之門潛踪入室針在堂生徒六人教師一人皆被某甲殺死卽時越窗遠颺不知去向聞此事業經禀官海城縣管洛生大令於前天親至屍場勘驗傳聞之人頗稱不謬未知果有此事否

笑林

●兩先生一著爭先 滬城某甲與某乙酷好奕棋每日午後輸名對坐相與尋橘中之趣一人棋手不相上下然甲善佔角而乙者做大肚皮及至終局則彼此勝負不過一二著而已由是人呼乙爲肚先生甲爲角先生久之角肚兩先生之名大噪一日兩先生又對壘兩旁作壁上觀者密若堵牆乙保其肚甲守其角鬪角鈎心經營慘澹初皆無懈可擊既而乙偶不經心甲忽然如有神助竟從一角破入中央乙錯愕連呼咄咄怪事一時觀者大譁內有儼然道貌者謂衆曰金角銀邊爛肚皮爛肚皮本易破入而况角勢崢嶸所向無敵哉聞者以爲知言

營口 旅館料理店案內 いろは順

旅館料理 第一樓 元神廟街九十六號(營口ホテル)

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

料理 一力 營口永世街 店主 堀万助

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東京樓 營口新市場前(電話一六番 四番) 店主 熊田粂次郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號正金銀行西三丁程

料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 沖の嶋 永世街百六十四號 店主 中川彌三郎

御料理 翁亭 營口元神廟街

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館 高砂ホテル 西北街(電話一四五番) 店主 丹山小みつ

料理 樂々亭 營口元神廟街 店主 武部貞

旅館 大和館 永世街三十四號(電話十一番) 店主 前田九一郎

料理 萬梅 豊濟門街第百〇四番 店主 島田彌助

料理 まんなをし 永世街字二本町 店主 和田常松

和洋料理 公樂園 南永世街

料理 喜樂亭 營口平野町

料理 都樓 平野町 店主 阪本ちか

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

旅館 品川館 營口永世街一六號

爲替相場(七月廿八日)
日本向 百〇一圓七十五錢(軍票百圓ニ付)
上海向 七十一兩二分ノ一(同)
天津向 一百四圓十二錢五厘(百弗ニ付)

日本郵便局受拂軍票相場 [illegible]

和洋料理 松月亭 營口元神廟街一一三四 店主 末松信太郎

料理 醉花園 旅館 澁谷旅館 永世街百二十七 店主 澁田留吉

奉天旅館料理屋案內

商人御定宿 瑞豐館 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉(電話□)

會席御料理 高等御旅館 天神樓 溫泉付大勉强キレーデチイシヒ 奉天小西關大街南側(電話□)

旅館料理店 日清館 奉天小西關大街南側 館主 入江熊男(電話□)

御料理 梅ケ枝 奉天小西門より一丁西の辻北入 館主 辻井ムメ

旅館料理店 日章館 奉天小西關大什字南街へ入(電話□)

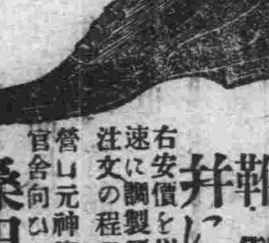
奉天兵站部指定 旅館 茂林館 奉天小西關大路北(電話二十五番)

御旅館 瀋陽館 奉天小西門外大街路北

御定宿 第一東京館 奉天小西關第五分局八一〇 館主 松田平四郎
今回弊館組織に大改良を加へ清潔閑靜を主として旅館を業に專ら御客樣の御便利を計り內湯新調仕候間御來宿の程奉願上候

和洋御料理 高等 遼東館 遼陽城內東街一八九號 電話 號

諸鐵工製作
鑛山船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般
營口ブロツク 紋シ定商門會街東 川喜鐵工所



靴製造并に修理
右安價を以て確實迅速に調製可仕候間御注文の程奉願上候也
營山元神廟街郵便局官舍向ひ 桑田靴店

奉天小南門ノ後 中越洋行
和洋諸雜貨 食料品卸小賣 各種賣藥卸小賣 中越大藥房
但シ賣藥部ハ臨時診察ニ應ス
向以後吉林長春ヘルビン地方ヘ御越シノ方有之上ハ聊カ御示談申上度義有之候ニ付御都合上御來訪ヲ乞フ

料理店旅館擴張廣告

四方各位益々御清榮被爲入奉大賀候陳者敝店儀襲に滿洲樞要の都府と當奉天小西門外什字街に於て料理店旅館開業仕候大方紳士紳商諸彦の御引立を蒙り日に增し盛大を來たし從つて家屋手狹まを感じ候に付今般一層業務を擴張し更に本店を當府小西關新衆會衙街に設け以て專門の料理店をなし日本式ナ宴會(百人迄の設備有之候並)に歌舞演藝に適する樣大廣間落成致し候に付き此際本支店共奮つて一大改良を施こし親切叮嚀に衛生と淸潔とを主とし精々勉强廉價に相務め可申候間倍舊一層之御愛顧御引立の程伏而奉冀上候 敬白
追而料理店旅館の位置は奉天小西門より約二丁西方に當り市街輕便鐵道を中心として旅館は西方へ約一丁餘料理店は北方へ約三丁有之候間御來駕之節は路上の目標に御注目被成下度特に願上候

奉天小西關新衆會街々 御料理 本店 金城館(電話十九)
奉天小西門街大什字街 御旅館 金城ホテル(電話一〇)
營口永世街 御料理 支店 金城館(電話八三)
營口永世街 御旅館 支店 金城ホテル
大連市吉野町 御料理 支店 金城館
大連市吉野町 御旅館 支店 金城館

御料理 雜貨 盛進館 井川商會 陽城內西街 店主 北ツネ

和洋御料理 御旅館 奉天軍政署指定旅館 奉天館 奉天城內鐘樓南大街(電話十四番)

日清俱樂部 奉天城內大南門裡大街(電話十五番)
麵麭製造 西洋洗濯 靴製造 日本大工 理髮 裁縫
氷卸小賣所

土木建築請負 煉瓦製造販賣 有馬組遼陽出張所 遼陽城內西街
雜貨卸小賣 主任 海南右門

安奉鐵道安東縣驛ヨリ五龍背驛迄一時間半
温泉場ハ五龍背驛ヨリ僅カ一丁
眺望絶佳今ヤ新綠滴タルノ下淸流掬スベキノ仙境タリ

滿韓境上 唯一樂園 五龍背温泉

當温泉ハ元陸軍療養所ニシテ今回公衆ノタメニ開放セラレシモノナリ
効能ハ脚氣、痔疾、刀瘡、神經病、胃病、子宮病、僂痲質斯、黴毒、癩病等ニ特効アリ

營口唯一西洋式のホテルにて宿泊料は極廉なり
酒部屋及玉臺理髮所の設備あり
食堂の外休憩所及應接室あり御會談に適せり
大集會御人數百名位の設備あり
遼河々岸 牛荘ホテル
アイスクリーム等の多少に拘らず御求めに應ず
高雅にして見はらし最良の景色に富めり
開業の披露として料理切手一千枚限り發賣す
第一等二圓第二等一圓五十錢第三等一圓

喜久洋行
啓者本行專售東洋各種木料板片杜亞鉛洋鐵瓦東洋大塊炸子消毒生石灰洋釘木炭等物敝行在青堆子自置棧房堆積貨物裝船裝車一概方便物美價廉格外公道倘蒙中外紳商賜顧者請到本行面議是荷
開設永世街第二小鐵道市場路東 本行主人謹白(電話一五二)

上海 中井洋行 專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠訂有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙料莊票包棉紗草板紙張日本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也 中井洋行

營口青堆子 自造 煉瓦●瓦 並に各種石材販賣 加州組(電話八十六番)

齒科治療廣告
啓者本醫士現將已前之療室從新改築寛敞幽雅俾期與治患之人一般便利而且應症活治療妥善有齒牙之患者幸早惠臨試驗方知本醫士之言不謬也
遼陽西街六十九號 齒科醫士 德平盛剛

軍隊用雜貨 日用品 食料品種々 船來品類
其外新荷着船來品精々大勉强販賣
遼陽西門外筋 北原洋行

本紙代價 一枚 金四錢 一ケ月前金 八十錢 半ケ年全 四圓六十錢 一ケ年全 九圓十錢
本報價目 一張 四分 一月 八角 半年 四元八角 全年 九元六角 一行五號十九字

辯護士法學士 ADVOCATE. DR. JUR. CHIGA.
律師局 營口永世街第三號之二(金城館南隣) 大連大山通二丁目三十一番 値賀連

營口 承文信記書坊
現廣西大街粵東會館前阜豊棧內專售古今書籍及石印敎科新書石板石粉筆等一概俱全如蒙商士賜顧者價照批發格外克己不誤 本號主人謹白

丸重轉運行
啓者本行前經關東總督之特准開辦東清鐵道轉運行專代各裝運貨物安全速達價亦格外公道以致名聲日增今又各車站設均分莊運輸決無誤如蒙貴商光顧請面是議荷
營口西北街(電話八十號)
既設分局 牛家屯車站(電話四十六號) 遼陽、奉天、昌圖各車站

關東玻璃公司
本公司自造各項玻璃器物貨色精工市價從廉光顧者請至營口永世街第五號門牌便是

青堆子 菅野玻璃廠
玻璃器什遠運必有破壞從價不廉玆本主人開辦玻璃廠聘許多好手藝之人自造各樣洋燈罩子瓶碟等凡所有玻璃器什類一概發賣價值公道主顧不誤官商幸給顧光特告白
本主人謹白

志岐組木料棧 材料出售
啓者本棧開設鎭口永安街專售鴨渾兩江之各種木料品質精良價値格外從廉克己凡中外士商光面議顧請到本棧

銃砲火藥販賣業
本行蒙官允准專賣各種洋鎗洋炮以及火藥鎗彈等件物美價廉需者發售如蒙中外紳商賜顧者請到本行面議可也
官許商 鐵嶺東門大街 秀淸洋行

遼陽州官設醫院告條
一凡請診治到院掛號須在上午自八點鐘起至十一點鐘止藥資例取銀隨意
一若有願蠲免藥資者須在下午到院掛號自一點鐘起至三點鐘止
一特邀醫官於其家者另繳規費一元以上但在下午三點鐘以後
一欲求診斷證明諸單及處方箋另付規費
一每逢慶節及禮拜日一概休辦

石材 石灰 大販賣 英治洋行(營口街 屋)(電話三一)

飯塚工程局材料部 營口元神廟前(電話百三十五番)
弊局土木建築材料品の各産地と特約を詰び廉價を以て多少に不拘賣卸仕候間御引立の程奉希上候
一北海道産松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、砕石、煉瓦等
一日本石炭數種

滿洲日報

白地レース付　六圓内外
博多地葡萄色　八圓内外
本琥珀リボン付　十二圓
白麻メリヤス上下　四圓
絹網半袖シャツ　三圓
絽更紗ネクタイ　一圓二十錢
羽二重仝　一圓二十錢
浪花簾縫模樣入　二圓八十錢
仝山水書入　一圓五十錢
扇風器　三圓
[illegible]味醂所仝　[illegible]
梅干正十二貫入　八圓
醤油極上一斗入　四圓五十錢
仝二斗二升入　四圓五十錢
魁酢一斗入　二圓
清酒稻正宗四斗入　[illegible]六圓
エビスビール四打入　九圓四十錢
平野水仝　四圓四十錢
京印醤油一斗入上　三圓五十錢
花莚四十碼　十三圓より
ゴム合羽　十八圓五十錢より
ゴム沓　十二圓より
雨傘　八十錢より
[illegible]　[illegible]
仝並一寸　六圓以上
仝正一寸　八圓以上
大貫上　三十五錢
料　三十錢
九太二間末口二寸　[illegible]
仝　二寸五分　五十錢
仝　三寸　七十五錢
仝　三寸五分以上才　七十錢

本紙代價
一枚　四錢
一ヶ月前金　八十錢
半ヶ年仝　四圓八十錢
一ヶ年仝　九圓六十錢
郵税無料

廣告料
五號活字十九字詰一行一回　二十錢
四號活字十四字詰一行一回　三十錢
二號活字九字詰一行一回　四十錢

本報價目
一張　四分
一月　八角
半年　四元八角
全年　九元六角

告白刊例
一行五號十九字
一日者每行二角登十日者
每日每行一角五分登一月
者每日每行一角登長年者
價目面議

清國營口中盛街(電話二九番)
滿洲日報社

特別廣告

廣告

刻聞軍政署電話局欲添募清國人能任交換電話之人有願充斯選者限年在十六歲以上至廿五歲爲度須有高等小學畢業程度且視聽力均須敏捷方不至貽誤事機如有合意之人請自書寫志願書及履歷冊携帶赴局以便試驗定募可也此佈
明治三十九年八月
營口軍政署電話局示

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千壹百五拾萬圓
橫濱正金銀行牛莊支店
(電話十番支配人室ハ百八番事務室)
本支店出張所
橫濱　神戶　東京　長崎　大阪　倫敦　里昂　紐育　桑港　布哇　孟買　香港　上海　漢口　天津　北京　大連　旅順　奉天　遼陽　芝罘　鐵嶺　安東縣

●竹島丸　八月十日午前出帆　太沽、芝罘、長崎、門司、神戶行
日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告
●橫濱丸　八月十一日午後二時出帆
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ
未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
大連出帆
營口代理店　旗昌洋行　(電話二六番)

●盛航丸　八月八日　入港
大阪商船株式會社
營口汽船出帆廣告
東營口公園地檬(電話二十三番)
代理店　ブクレユ兄弟商會　遠來洋行

●大新丸　九日未明出帆　大連門司行
瀛船出帆廣告
松茂洋行船舶部
海岸東稅關西　電話(五二五七)

朝日ビール、石炭、白鹿(日本酒)白糖、木材等類各貨物美價廉如蒙各商光顧請駕臨
松茂洋行商品部
(電話五二番)

正隆銀行
營業項目
一定期預金(長期存款)　三ケ月五分　六ケ月按年五分五厘　一ケ年六分
一當座預金(暫存款)　按年四分五厘　日步一錢二厘三毛
一小口當座預金(零碎暫存款)　按年五分一厘　日步一錢四厘一毛
一送金爲換取組先(匯兌)　東京、橫濱、大阪、神戶長崎、上海天津の橫濱正金銀行本支店
一貸附金(放利)
一一般財產並に土地建物の管理を引受くること
不動產抵當貸附金の委託を引受くると
一附帶ノ業務
軍政署認可
本行受入の手形は軍票及正金一覽拂手形は勿論墨銀小銀貨に至る迄精々御都合宜敷樣可相働候尙近々の內過爐銀の取引をも開始可致候
營口西北街第二百三十號(日本人會西隣)
支配人　深水十八
(電話二百十番)

宅洋行
啓者敝行專賣綿紗粗布綾子絨布手巾花巾洋胰火柴鐘表等類價値格外克己並且貨眞價實以致敝行名譽日增承蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸營業以便貴客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意愈覺著明所有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽欵待周詳俾可面商一切事宜幸中外士商鑒其誠實無欺惠臨賜顧局勝榮幸之至　總司理人　田中賴之助謹白
開設老爺閣街同盛德院內
電話(店一八三番　住所五五番)

東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉絲布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並匯兌銀錢彙代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜彙置有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚機租格外從廉貴客賜顧請到小號面議是有
總司理人　葉亮卿謹白

東永茂
機器油房在營口創辦油榨生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物幷代客莊運瀛船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各商北客經理有年誠信相孚遐邇知之　正理事潘玉田　副理事金德魁
設在營口西北街路南

西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南營乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞　本主人敬啓

仁裕號
係裝運各幫火輪船生意兼賣各幫洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北營乙第十三號

永順洋行
本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家綿自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
東北街　西櫃(電話九十五番)
西義順棧內　西櫃(電話九十八番)

SP
糸平公司
本舖在大阪開業以來一百餘年今特於本埠開設支店所有發賣物品貨美價廉如蒙中外士商賜顧請至本行購買可也今將自製布類列下東洋各色絨布毯子各式被面各色布疋各種綢布其他一切織物槪行發賣並特約販賣(正日光)皮酒價及各樣雜貨尤廉減特此廣告　營口元神廟街元神廟南邊路西
朝日ビール特約大販賣(電話百九十二號)

三井
電話　第六十六號　第九十一號
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭、糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷
○發售新到洋白糖
倉庫部
今回倉庫所在地(靑堆子精搗場上隣り河岸)の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候
○明治火險公司(電話百二十八號)
經理
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議
○發售日本白米
○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一槪章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

三井洋行啓
啓者火災之害影響於商界者最鉅營口爲通商大埠百貨叢集資本浩繁有保險以維持之可以有特無恐法至良意至美也小行經理日本明治火險公司已歷多年幸蒙中外所信用前有郭漁笙王鹿芹朱斐章先生久在營口信義素著且於保險章程最能熟悉小行特請爲代理人以廣招徠使保險者便於接洽聲應氣求較之直接尤爲穩妥諒亦諸貴商所樂聞乎如蒙賜顧請逕至大德亨內面議可也
營地商務之盛大異昔年惟於火險一道以謂關於天數吝惜保費孰知一家東本數萬金常存數十萬金之貨一遇不測非但數十年老業難繼即殷實東家亦覺受累無窮可見保險之有益豈淺鮮哉僕等承三井洋行謬愛囑爲代理日本明治火險公司保險各事僕等素知該公司及該洋行信義久著故敢代爲介紹且保費亦較他公司克己諸公賜顧請駕臨大德亨內面議不誤
王鹿芹　朱斐章　郭漁笙　仝啓

洋行
電話　第六十六号　第九十一号

東省巡航公司業務廣告
本公司は牛家屯東稅關西稅關河北間に小蒸滊船ホ・チン號を往復せしめ牛家屯河北停車場發着列車の連絡を取り旅客の迎送をなす
本公司は牛家屯營口河北間貨物の運搬及曳船の依賴に應ず
御用の節は電話二百三十六番へ御一報煩し度候
本公司乘船場は牛家屯停車場前棧橋河北停車場前棧橋東稅關棧橋西稅關東部にあり切符發賣所は各乘船場及船中にて發賣す

賃銀
自＼至	河北	西稅關	東稅關
牛家屯	三十錢	三十錢	二十錢
東稅關	二十錢	二十錢	
西稅關	十錢		

數回切符は特に割引可致候

列車連絡時間表(日本時間)
東稅關午前五時發　牛家屯六時三十五分發列車に連絡
仝午前六時發　河北七時發列車に連絡す
東稅關午後七時四十分發　牛家屯發九時三十五分の列車に連絡
牛家屯午前九時四十分發　牛家屯九時十分着の旅客を迎ふ
牛家屯午後八時發　營口牛家屯間通勤諸士の營口歸りの便を計る
河北午後六時發　河北五時四十分の旅客を迎ふ
營口元神廟街第五十五號
東省巡航公司謹白
電話番號二百三十六番

●印判彫刻●ゴム印
●活版名刺
●各色印肉インキ附屬品一式
各位の御引立に依り日に月に隆盛に趣き候段奉謝候今回技術精好なる職工數名到着候に付分店設立と同時に一層勉勵を以て期日正確價格低廉貴需に應ず可く候間多少に不拘御下命被下度候
御報知次第店員參上仕候
營口永世街三十七号
尾崎洋行
奉天小西關大街二七八号南側
刻字舖　尾崎洋行分店

安東縣市場通七丁目
合資會社　秋田商會支店
洋鐵鋼
麥粉、白糖、白米、玻璃板、亞鉛板、鐵線、洋釘類、建築土工用具及船具類其他諸機械ノ製作修繕
安東縣東大街
合資會社　秋田商會支店

牙大夫學士兒島醫院
DENTIST. Dr. KOJIMA.
●語曰齒全壽長●營口元神廟街
告白
啓者本院主從來於森醫院治療從事則近時稍感狹隘今別卜居開院新式諸器械完備無遺憾專足於救治牙疼施術有窩金銀充塡落齒補足妙技奐有齒牙疾患者希咀嚼快者欲皓齒金光燦爛美者速來知神秘妙執事

志岐組
本組業設營口綏定門外專辦架造房屋及做工之事自今發售各種日本木料洋灰玻璃洋酒麥酒便利瓦等類價値格外從廉品質精良並且貨眞價實以致本組格外名譽其誠實無欺惠臨中外士商賜顧請到本組面議是幸
本主人謹白

周
鐵道遼河裕和盛運輸局
(電話八十一号)
在東營口西北街旗昌洋行對門
啓者本号向在日本長崎開設數十年開店仁川木浦旅順烟台營口鐵嶺漢城等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船車々又承辦東清鐵道貨物代客裝運貨物各車站均設局格外周到不悞主顧
總司理主人　周鶴雲謹
運輸部主任　高濱麟太郎啓

徽州
怡昌祥茶號
本號專在徽州黃山採辦三十六峰雲霧仙品名茶色香味與衆不同加工揀焙重資徵郡珠蘭不惜資本以圖久遠凡貴商大寶號賜顧者請認明本号黃山圖記庶不致誤
怡昌祥主人謹白寓營口恆利德

日本官造紙煙專售告白
本號現開設在大連、安東縣、營口、遼陽、奉天、鐵嶺、等處專售日本官造紙煙朝日(紅旭牌)大和(雲花牌)敷島(蓬島牌)媚嫣唎(軍旗牌)逢佔來福(雙仙鶴牌)利利(百合花牌)捷利(櫻花牌)斯達(星象牌)哥耳大巴德(蝙蝠牌)等九種及煙絲各樣
東營口西北街(舊代代木公司)
日本官煙營口專賣處

丸重轉運行
啓者本行前經關東總督之特准開辦東清鐵道轉運行專代客裝運貨物安全迷達價亦格外公道以致名聲日增今又各車站設均分莊運輸決無誤如蒙貴商光顧請面是議荷
營口西北街(電話八十號)
既設分局　牛家屯車站(電話四十六號)遼陽、奉天、昌圖各車站

關東玻璃公司
本公司自造各項玻璃器物貨色精工市價從廉光顧者請至　營口永世街
第五號門牌便是

志岐組木料棧
材料出售
啓者本棧開設鎭山永安街專售鴨渾兩江之各種木料品質精良價値格外從廉克己凡中外士商光面議顧請到本棧

●銃砲火藥販賣業
本行蒙官允准專賣各種洋鎗洋炮以及火藥鎗彈等件物美價廉需整發售如蒙中外紳商賜顧者請到本行面議可也
官許商　鐵嶺東門大街　秀淸洋行

齒科治療廣告
啓者本醫士現將已前之療室從新改築寬敞幽雅俾期與治患之人一般便利而且應症活治療妥善有齒牙之患者幸早惠臨試驗方知本醫士之言不謬也
齒科醫士　遼陽西街六十九號　德平盛剛

營口重要物產相場

穀物相場（五日）

		兩 錢
青豆	一石	六、〇六六
黃豆	仝	六、〇七五
黑豆	仝	六、〇二

綿布相場

		兩 錢
大鹿	一疋	四、〇九五
昏狗頭	仝	四、〇七五
金大丰	仝	四、〇五
老人馬	一疋	四、〇五
金杢鼻布		六、〇〇
藍園龍票布		五、〇五

綿糸相場

		兩 錢
彩美人	一梱	七五、〇三
人担茶	仝	七五、〇〇
紅人竹	仝	七五、〇五

	兩 錢
內地向	一〇、五〇
上海向	一〇、七五
天津向	一〇、三五
芝罘向	一〇、〇〇

軍票百圓 銀百圓

雜報

●モリソン博士の滿洲通信

在北京倫敦タイムス通信員モリソン博士が過日滿洲を旅行し其視察上より得たる結果を通信せる中大に實際を誤れるものあり世界の疑惑を惹起せるとは我東電の夙に報道せる所なるが今其誤謬の要點を擧ぐれは

（一）大連及び安東縣より日本貨物の無税にて輸入せらる、ため外國貨物は之か競爭に堪へざる事

（二）營口の關税收入は日本の銀行に預入れられ且日本に於て之を使用し居る事

（三）安東縣に於て日本か名義上の代價を以て沿線の廣大なる土地を買收し之かため清國税關設置の場所すら殘り居らさる事

等の數項にして我政府に於ても頗る之を迷惑なりとし其辨明せる所は概ね左の如しといふ

一、大連及び安東縣より輸入せらる、貨物の無税なるは同地に未た税關の設置なき自然の結果にして同地へ輸入せらる、貨物は日本品と外國品とを問はず總て無税となる次第にて之かため特に日本品に對し何等の利益をも與ふるものにあらず特に安東縣の如きは奉天との間に一條の輕便鐵道あるも右は專ら軍用に供せられ一般貨物の輸送は殆んと皆無といふも不可なし故に同地より輸入せらる、貨物が滿洲內地に入りて營口等の有税港より輸入さる、貨物と競爭するか如きは事實にあらす加ふるに日本政府は清國か同地に税關を設置することに對し主義上何等の異議を有せさるを以て同地に於ける無税輸入の現狀も遠からす更正せらる、に至るへし大連税關設置の件は清國政府にて露領より鐵道により輸入さる、貨物に對し税關取締をなす限り日本政府に於て何等の異議を有せさるを以て大連の現狀も久しく繼續することなかるへし

二、營口の關税收入を我正金銀行に預入れつ、あるは事實なり然れとも右は清國政府に於て承認する所にして同地には日本官憲は其一部を以て道路衛生警察等地方公共の費用に充て其他は撤兵の完了と共に總て之を清國政府に還附すへき筈なるを以て日本政府に於て關税收入を私するか如き事實は更に之れなき所なり

三、安東縣に於て河岸地を購入せるは事實なりと雖も右は鐵道附屬地となすへきものにして何つれも持主と協議の上相當の價格を以て買收したるのみならす其面積も東清鐵道の他ゝ停車場敷地に比し廣大に過ぐるものといふを得す清國税關設置の場所の如きも決して之を得るに困難なることなし云々

●新戰鬪艦の武力 今回橫須賀に回航さるべき新戰艦香取の武裝を聞くに上甲板前後の砲塔に十二吋砲各二門主砲の各隅角砲塔に十吋砲四門又中央甲板兩舷側に六吋砲十二門を裝置し艦內各部には十二斤砲十二門三斤砲三門マキシム砲六門其他速射砲並に六個の潜水雷發射管ありて實に世界に於て最も優勢なるものなりと云ふ

●近衛師團の行賞 元第一軍野戰近衛師團第二旅團司令部附下士以下十四名、近衛步兵第三聯隊四千八百十三名、同第四聯隊四千八百九十五名、同騎兵聯隊、砲兵聯隊、工兵大隊三千三百五十名合計一万三千七十九名に對し四月一日附を以て行賞發表せらる、右の內殊勳の甲即ち功六級金鵄勳章六十名、殊勳の乙即ち功七級金鵄勳章千四百六十七名なり

●端戴二氏の上海發 出洋大臣戴澤公は去月二十三日を以て海外視察より北京に歸れるが端戴二大臣亦既に回國上海に滯在中の所三日前同地發北上の途に就きたるを以て今明日中には北京に入るべしとなり

●袁督の弔電 兒玉大將の訃は中外の等しく驚愕する所なるか直督袁宮保亦其訃に接して哀悼に堪へず直に左の電報を遺族に發したりといふ

轉交兒玉子爵邸諸公子鑒電子爵仙遊聞耗深爲痛悼子爵勳名蓋世生榮庇哀尚祈少抑悲忠善述失志夙蒙友誼專電奉唁以表微誠

●林公使の歸任 新任林公使は袁總督と會見旁々天津視察の爲め去月末より下津滯在中の所三日午後三時二十六分發の汽車にて高尾通譯官を隨へ歸任の途に上りたりと

●新聞紙の勢力 獨逸植民院は新聞紙上の攻擊の衝に立てる官吏若干名を今度更に罷免したるが其重なるものに樞密顧問官フォン、クーニと氏あり氏に對しては私を營み賄賂を受けたりとの非難あり植民地陸軍請負人の主要なるテペルスキルと會社に對しても新聞紙の攻擊ありて諸新聞は皆同會社の植民院附フ井シエル少佐に贈賄し且高く其の品物を獨乙政府に賣附けたるとを酷難せりと

●浦潮の清韓居留地 露國政府は浦塩居住の清韓兩國民に對し此程居留地を制限し特に清韓人居住許可區域を設け一切區域外居住を許さゞることゝなせるを以て右に付我政府及清國政府は露國政府に對し抗議を申込みたりといふ

●鐵道提理部吏員 現在の野戰鐵道提理部員は技師二十餘名、技手、書記等の判任相當官五百餘名其他のもの六千餘名合計約七千名にして南滿鐵道會社成立後は更に同會社員として採用せらるべき筈なるが內家族等の關係より內地に歸還せんとを希望する者尠からざれども大部分は依然南滿鐵道會社に採用せられんとを望み居れりと

●關東州の外國人 旅順、大連に於ける殘留財產處分整理のため上陸を許可せられたる本年一月より七月廿日迄の各外國人は米六、露八五、諾威一、英三、瑞典一、獨七、佛二、清四、土一、希一合計百十三名にして右の內既に渡來したる者米三、露三二、諾威一、英二、瑞典一、獨四、佛二合計四十七名なりと

●上半期の長崎貿易 本年上半期の長崎港仲繼貿易額は二百萬三千五百二十三圓にして前年の同期に比し六十二萬六千二百六十五圓の增加にして取引先は主として露西亞に韓國の各地なりと

●臺灣の富籤 臺灣の富籤は來る十月第一回を發行し引續き二ヶ月毎に發行し一票の賣價は金五圓にして一等五万圓の當り籤となすならんと云ふ

●大阪市の外債認可 大阪市參事會より申請中なりし二千六百九十八万圓の市債借入の件は愈々大藏內務兩大臣より認可せらるべき旨內報ありたり右認可の上は山下市長は正式に興業銀行に向て外資輸入の交渉を開始すべしと云ふ

●獨公使の兼任 駐清獨逸公使に任ぜられたるチックス伯は未だ着任せざるが今回樞密顧問官に任ぜられたり因に獨逸にては樞密顧問官の職は外交官として兼任差支へなきものなりと

●港口塡塞 過日來臺灣島南部の海上は連日風波高かりし爲め安平港は港口三百間餘砂の爲に塡塞せられ船舶出入不可能となれりと

●關東州の面積 關東州民政署の調査に依れば租借地關東州の全面積は日本里程にて二百五十五平方里ありといふ

●一高長と新渡戶氏 前第一高等學校長狩野博士が先頃京都文科大學長に轉任せる爲め其後任候補に就て種々の傳說あるが就中京都法科大學教授新渡戶稻造氏は最も有力なる候補者なりと

●軍艦給仕の行賞 日露戰役中各軍艦に乘組みたる軍艦給仕にして戰役當時勳功ありたるものに對しては假令未成年者と雖も今回の論功行賞に與かるとゝなり現に叙勳又は一時賜金等下賜せられたるもの尠なからずと云ふ

●關東都督府官制

今回發布せられたる關東都督府官制左の如し

第一條 關東州に關東都督府を置く

第二條 關東都督府に關東都督を置く

都督は關東州を管轄し並南滿洲に於ける鐵道線路の保護及取締の事を掌る

都督は南滿洲鐵道株式會社の業務を監督す

第三條 都督は親任とす陸軍大將又は陸軍中將を以て之に充つ

第四條 都督は部下軍隊を統率し外務大臣の監督を承け諸般の政務を統理す

第五條 都督は特別の委任に依り清國地方官憲との交渉事務を掌握す

第六條 都督は軍政及陸軍軍人軍屬の人事に關しては陸軍大臣、作戰及動員計畫に關しては參謀總長、軍隊教育に關しては教育總監の區處を承く

第七條 都督は其の職權又は特別の委任に依り都督府令を發し之に禁錮一年以下又は罰金二百圓以內の罰則を附することを得

第八條 都督は安寧秩序を保持する爲臨時緊急を要する場合に於て前條の制限を超ゆる罰則を附したる命令を發することを得

前項に依り發したる命令は發布後直に外務大臣を經由して勅裁を請ふべし若し勅裁を得さるときは都督は直に其の命令の將來に向て効力なきことを公布すへし

第九條 都督は其の管轄區域內の防備の事を掌る

第十條 都督は其の管轄區域內の安寧秩序を保持し又は鐵道線路の保護及取締を行ふ爲必要と認むるときは兵力を使用することを得

前項の場合に於ては直に外務大臣、陸軍大臣及參謀總長に之を報告すべし

第十一條 都督は所轄官廳の命令又は處分にして成規に違ひ公益を害し又は權限を犯すものありと認むるときは其の命令又は處分を停止し又は之を取消すことを得

第十二條 都督は所部の官吏を統督し奏任文官の進退は外務大臣に由り內閣總理大臣を經て之を上奏し判任文官以下の進退は之を專行す

第十三條 都督は外務大臣に由り內閣總理大臣を經て所部文官の叙位敍勳を上奏す

第十四條 都督は所部の文官を懲戒す其の勅任官に係るもの及奏任官の免官は外務大臣に由り內閣總理大臣を經て之を上奏す

第十五條 都督府に都督官房を置く

都督官房に副官一人及秘書官一人を置き機密に關する事務を掌らしむ

副官は陸軍佐尉官を以て之に充つ

秘書官は奏任とす

第十六條 都督府は民政部及陸軍部を置く

陸軍部に關する條例は別に之を定む

第十七條 民政部は軍事行政を除くの外一切の行政事務を掌る

第十八條 民政部に左の四課及一署を置く

庶務課 警務課 財務課 土木課 監獄署

其の事務の分掌は都督之を定む

第十九條 關東州を三區に分ち各區に民政署を置く其の位置名稱及管轄區域は都督之を定む

第二十條 民政署及監獄署の事務を分掌せしむる爲須要の地に民政支署及監獄支署を置く其の位置、名稱及管轄區域は都督之を定む

第二十一條 都督府に左の職員を置く

▲民政長官一人（勅任）▲參事官專任二人（奏任）▲事務官專任六人（奏任）▲民政署長專任三人（奏任）▲技師專任十八人（奏任）▲警視專任六人（奏任）▲典獄專任一人（奏任）▲翻譯官專任三人（奏任）▲屬、警部、技手、監吏、監獄督、翻譯生專任二百二十八人（判任）

第二十二條 民政長官は都督を佐け民政部の事務を總理す

第二十三條 參事官は上官の命を承け審議立案を掌り又は各課の事務を助く

第二十四條 事務官は各課の長と爲り又は各課に分屬し上官の命を承け事務を掌理す

第二十五條 民政署長は都督の指揮監督を承け法律命令を施行し部內の行政事務を管理す

第二十六條 民政署長は部內の行政事務に付其の職權又は特別の委任に依り管內一般又は其の一部に民政署令を發し之に十圓以內の罰金又は拘留の罰則を附することを得

第二十七條 民政署長は管內の靜謐を維持する爲兵力を要するときは之を都督に具狀すへし但し非常急變の場合に際しては直に其の附近の守備隊長に出兵を要求することを得

第二十八條 民政署長は所部の官吏を監督し判任官の進退を都督に具狀す

第二十九條 民政署長は署中處務の細則を設くることを得

第三十條 民政署長事故あるときは上席官吏其の職務を代理す

民政署長は部下の官吏をして其の事務の一部を臨時代理せしむることを得

（第三十一條乃至第四十三條技師以下の職務條規略す）

附則

本令は明治卅九年九月一日より之を施行す

●鐵嶺通信

▲軍政署閉署式 鐵嶺軍政署にては去る一日十四師團長以下日清官憲幷に居住民有力者を招待し閉署式を擧行せしが定刻（午后七時）に至り集る者約三百五十名當地一統の藝舞妓の演せる餘興を一般の觀覽に供し午后八時に至り立食の饗應あり席定まりて橋口軍政官は開署以來の經歷と告別の辭とを簡單に演說し終りて天皇陛下の萬歲を三唱し一同歡を盡して午后十時散會したり

▲居住民の送迎會 は去る二日商品陳列館の一部に於て行はれたり來賓は軍政官始め署員一同及び天野領事幷に館員一同にして居住民の有志約百五十名午後五時頃より三々伍々相集まり正六時には紀念の爲め撮影をなしそれより立食の饗應に移り戒田正金出張員は居住民を代表して簡單に送別歡迎の辭を述べ次で橋口軍政官の答辭幷に天野領事の謝辭あり終りに戒田氏の發聲にて橋口軍政官、天野領事の萬歲を唱へ橋口軍政官は居住民の萬歲を唱へ主客共に歡聲湧くか如く興を盡して十時頃散會したり因に云ふ此兩日の會合は鐵嶺開放以來始めての出來事にて爲めに沈衰せる市街も何となく色めき渡りたる光景にありき

▲橋口軍政官の出立 仝軍政官は鮫島新師團長の着任を迎へ終つて本月五日官民有志に送られ午前十一時發列車にて總督府へ向け出立せられたり多分一應歸朝の上任地確定するならんと

▲軍政署殘務取扱所 は商品陳列館構內に設けられ領事館は軍政署跡に開館し事務を取扱ひつゝあり

▲鐵嶺輕鐵の處置 に就ては軍政署に於ても其處置に苦しみ目下日清人協同株式會社設立を希望し奔走せる模樣なるも容易に成立の見込もなければ餘儀なく一部の貸下希望者に一時貸下を許可するより外詮方なき事となれりと云ふ

●五八銀行安東縣支店 大阪五十八銀行にては高橋頭取先頃來朝鮮視察の結果安東縣に支店設置の必要を認め目下重役間に於て之が開設時期に就き內議中なりとといへば之が實行を見る遠きに非らざるべしと云ふ

會席 營口警務課

淡谷 本號開設營口東青堆子發賣

●安奉鐵道驛の減廢 安奉鐵道は從來三十六驛なりし所去る三日より二十一驛に減少し中繼驛も亦從來下馬塘なりしを改めて蘇家屯と爲せる由なるが今其二十一驛名稱を擧ぐれば左の如し

沙河鎭 五龍背 高麗門 鳳凰城
鷄冠山 二道 黑坑 秋木
林家 草家 連山 下馬塘
南坟 橋頭 福 重 孟家
本溪湖 石橋 陳柏 渾河 奉天

●第二艦隊の來航期 目下渤海灣上に遊弋しつゝある我第二艦隊の來る十三日を以て來航すべきとは前號の紙上に記載せる所なるも同艦隊は更に其來航期を早め十二日入港十三十四の二日は射擊演習を行ひ十五日拔錨の筈なるが我官民の歡迎會は來航の上艦隊の都合を聞糺したる上日時を決定する筈なりといふ

●一昨夜の送別會 今回當正金銀行支店長中村錠太郎西稅關長蠟山長次郎郵便局長前田鋕次郎の三氏は孰れも轉任の事に決定不日當地を去らるゝに付軍政署領事館三井郵船會社正金平岡組の人々相謀り一昨午後六時より朝日館に於て右三氏の爲め送別會を開きたるが席定まるや興倉長官の挨拶に次ぐに中村氏の答辭あり酒間暢談一客歡を盡くして十時頃散會せり來會者四十餘人

●ロセツタ丸の歡迎 ロセツタ丸滿洲旅行者の來營期日は別項記載の如くなるか當地在留民に於ても熱心なる同情を以て之を歡迎せんとを期し本願寺出張所布教使寺本泰嚴氏先つ率先營口佛教婦人會を勸誘し到着當日には會員中の有志牛家屯迄出迎すべく又會員中の播磨洋行內岸澤小せい子は卷紙一百本を寄贈すべく又東盛和內三宅氏はトロツク五十臺を用意して其往復に便し軍政署亦特に好意を以て小蒸滊船二隻を牛家屯迄廻はすべしといふ因に在留內外人にして一行へ物品等を寄贈せんとする人は本社內山田千秋へ申込まるれは取次の勞を執るべしとなり

●清商の美擧 在營口三江會に屬する清國商人は豫て學事奬勵に留意せる所今回該會長等親しく軍政署に出頭し金三千圓を學校經費の爲めに寄附せんとを申し出てたりといふ義擧洵に感ずべしと爲す

●營口目下の碇泊船 解氷以來一時內外荷物の輻輳を來したるが爲め內外滊船の碇泊せるもの平均十艘內外に及びたるが此一旬前より多少の寂寥を感じ大に其數を減せし當局者の言に依れば右は近來稀有の寥にして何かの廻り合ならんと云ひ居れり而して目下當港に碇泊せる滊船は左の如し

一滊船萬成源 大龍丸 大清丸 竹島丸

●滊船竹島丸入港 旗昌洋行の取扱に係る郵船定期竹島丸昨朝午前七時入港乘客下等日本人十三名荷物四百八十九個にして荷主はケイ加藤柏谷の諸氏及各個荷爲替附等なり來る十日頃出帆の由

●氣象臺雜話

▲去る廿四日の月蝕は大分長き間に亘り一時東天に蜂の巢大の靈燈影を現出したる事とて人々氣味惡き感を爲したるが右は皆既蝕にして午後八時三十五分より欠け始め九時十五分皆既となり十時四十分欠け始め十一時二十分頃全く無蝕となれりと當春二月九日の月蝕は見へさりしもこれで皆既蝕は本年二回の由

▲兩三日前より夜分非常の寒さを感したる如く云ふものあるも左程の冷氣にはあらす近來一番冷やてきは昨七日午前六時にして華氏六十三度三分にして大したる事なしと而して金子技手の言に依れば右は一時北部氣壓の爲めなりしと

▲本年一月より七月に至る華氏寒暖計平均溫度を列擧すれは左の如し

	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月
平均	一三、〇	一一、八	三三、三	三二、八	六一、九	七二、〇	七七、〇
最高	四〇、一	三三、三	五七、四	七二、一	八一、五	八七、八	九〇、一
最低	一一四、	一一三、	五、二	一一三、	三七、四	五二、二	六七、一

本年中の最も暑き日は七月十五日にして本月中の暑き日は六日の八十九度八分なりと云ふ

▲當地は大陸的に空氣非常に乾燥し居るが故に呼吸機病者は大に注意すべしとなり

●東西南北

▲昨年暮より本年始めにかけて東京市中を騷かしたる鬼夫婦大久保時三郎及內緣の妻西山タクは舊年本夫西山友七を殺害し且縊み屋を殺害し床下に埋めたる事判明し其筋の手に捕れたるが此程豫審決定し愈々罪跡明かとなれりと云ふ

▲丹後竹野郡鳥羽村の芦田熊藏の三女おまさと云ふのは本年滿三歲なるに身丈四尺五寸体量七貫六百目ありて何一點の不平均のなき体格であるとか世の中には隨分大きな女もあるものかな

▲海軍主計總監川口男の風流は今更ならぬ事ながら近き頃鵠沼の別墅にて眞晝中家財を盜賊にさらわれ留守の者は驚きて急報したるに男は卒嘯さつゝ左の一句を物したり

盜まれぬ物一つあり松の月

▲又之に等しき風流は東京府知事千家尊福男が先頃都築翰長より狸の腹鼓を書きし古幅を贈られたる禮に左の一句をそへて贈られたりと云ふ

武藏野を一呑にして腹鼓

▲山梨縣都留郡吉田郵便局長は富士山頂に郵便局を設置し登山者の便利を計らんと計畫し其筋に出願中なりしが去る廿六日附にて設置の命令ありしを以て八合目に於て去月三十日より夏期中だけ普通及小包郵便を取扱ふ筈なりと云ふ

青

自六日午後六時
至七日午後六時

新作小說 おとし胤 七十一 徳田秋聲

數馬と合田とは、菊花壇に近い方から、また海鹿子爵は亭の左手の方から林へ入ッて双方共に彼方此方と樹下から樹下を潜ッて光の在所を探し廻ッた、丁度其の頃に光は其の反對の側――隱宅の方の林の中からひよッくり現はれて、茫ッとした顔で、ぐたへした庭內の様子を眺めてゐた。彼女は、ぐるり林を一廻して此處に現はれたのであッた。

其の姿を目疾く目付けたのは輝子だ。輝子は、ふと其の影を見ると直に小手招しながら駈寄ッて、

「貴方、何處にお在遊ばしたのでございます、數馬様と合田さんとで、何様なにお探し申しましたか……」

「然う。」と光は、にッこりして「私れ、熱田さんと御一所に、林の中を散歩してゐたのよ。」

「ま、貴方、此様な時には、御勝手に御散歩なんかなさるものではございせん阿父様が、急な御用でお召になッてお在ださうでございますから、疾くお出遊ばせ。那の築山のお亭にお出ださうでございますから。」

「然う、阿父様がお召になッて。」と光は、思はず胸を轟かせて「あの、餘程經つのでございますか。」

「いゝえ、其様なでもありませんけれども………また御心配なさると可けませんから、疾くゐらッしゃい。」

「は。」と謂ッたが、光は何んだか父の傍へ行くのが嫌でならなかッた。父に顔を合はせるのが何やら後護たく思はれてならぬのであッた。雖然其様なてとを謂ッては居られぬ。それてしぶ〳〵ながら築山の方へ行ッた。

お亭へ來て見ると、父子爵の影も見えない波川獨、考深い眼に何やら見詰めながら、お亭の番をしてゐた。

「ま、阿父様は………」

と呟くやうにいふと、波川は振向いて、

「阿父様は、貴方を探しにお出になッたですよ。」と優しく謂ッてあの何んださうです。お國の方から、あの健三が來たんださうです。」

「ま、健三が。」と光は、驚いて、眼を瞬ると、

「然うです………何爲に來たのですか、何しろ是非貴方に逢はなければならんと謂ッて、幾ら斷ッても玄關を動かなかッたさうですから、疾く行ッてお遣りなさい。」

「は。」とばかり、光は、氣もそゞろ。急いで築山を下りかゝると、

「光さん、鳥渡お待ちなさい、」と呼止め、起ッて、傍に行き、小聲で「人の知れぬやうにして、私が當邸へ來てゐることを健三に謂ッて下さい。そして那の御用が濟むだら、私の宅へ來るやうに有仰ッて下さい………私の住所を能く敎ねて………可うございますか。貴方私の住所を御存知でせう。」

光は、點首いた。

「併し何んですよ。」と波川は言を繼いで、「貴方も何んだか、私がお國へ行ッたことは秘密にして置くやうに健三にも能く注意して置いて下さい。解りましたか。」

「解ッてよ。」

「それでは疾く行つてお遣りなさい、阿父様も逢つて可いと有仰つたのですから、誰にも遠慮なさることは無い。」

その言の訖はるか訖はらぬに、光は踵を返して、築山を下つて。そして成べく人の居らぬところを擇つて、庭を突つ切り、廊下から幾間かの座敷を拔けて玄關へ出て見た、果して其處に、健三の姿が見えた。彼は、傍若無人なる身構で玄關敷臺に腰を掛けてゐた。

「健三。」

と光は、悅の溢れた聲で呼掛けた。彼は、振返つて、

「や、孃様………」

と懷慕しげに謂つて、衝と立起つた。

●巷談夢見枕(一) 亞面坊

ゆめ枕、只かりそめの浮世の手枕にも戀しゆかしの夢はこそあれ、鳥羽玉の夜を思ひ寐に誠とのみは見ぬそれをばかり今のたのしみと云へば儚なきものなれど內實はそれ一つのたのしみとせる我のいかにして心ゆくばどの夢を見ばやと兎角に苦勞して、さる頃ゆめ見の枕といふものを工夫せり。かい集めたる友が文がらの積むで堆かきを一袋となして雨ふる宵などかりの枕とすれば、何とは知らずものゆかしきおもひで草のひきもきらず心にうかび出でて悟めての心地よさ限りなければ此地に來りし今までも、この癖をやめず

遠からぬこの頃の夜なりけり、いまの身のある様は兎まれ、これも思ひでの一つかや去年この地に來たれるはその様子、まざまざとゆめに入りてウンダといへる船の甲板に立ち星を仰げると見て覺めぬ。思ふに去年の六月とかへば百貨市に行られて萬金を拉すべき此地盛大の極なりき、玆に心なくして來れる我は先づ措いて百餘の船客悉く皆、一攫の利を思ひ、忘想の慾を期しぬ。口に語る所は金、心に思ふ所は金、彼等が擧措進退一に金に在て存す。それもよからん、これも可也。而もひそかに伺ふに、一人として目の色の美しきものとてはなく、擧動の整然たるものはあらざりき。彼等を放蕩無頼と云はゞ云はむ。あさましきことに罵りかはすなど忌はしき限りとその様々に忘れず。乘り合はせたる客の總てがかかる徒なれば既に彼地にある輩の如何なるかは以て律すべけれ。元より永遠の慮かりを抱けるものもなく、彼等の事業と稱せるものは、口錢取、奪界。爲す所退ゞ異なるも一歩間違へば女衒の行ひをなす。比々皆然り態々かかる地に泥水呑みて苦しき思ひして同士喰するなど沙汰の限りといふべし。これ實に現實にかける滿洲經營なりけり

●理髪床と湯屋 目下營口の物價は漸々下落の傾向があつて之を昨年の今日此頃に比すると約二三割方安値となつたのだが獨り理髪賃のみは昨年以來依然として六十錢である▲經濟力の膨大せる戰後の新發展地たる當地邊りで六十錢の理髪賃と三十錢の鬚剃賃は敢て驚くにも當らないが丁度東京の電車三錢に對して一錢の通行税を課せられるのと同じことで勘定よりも寧ろ感情の上から面白くないのだ▲現に田紳仲間の利源調査員の一人が大連に上陸して四十錢の理髪料に吃驚して刈りたいのを我慢して營口まで來て床屋に行くと豈料らんや六十錢をフンダクられて呆れて了つたといふ滑稽もある▲現今大連では二十錢臺で何處の床屋に往ても立派に刈つて來られるといふから此の營口でも今少し價下げをしたら善からうと思ふ▲左なきだに此營口の土地は我利々々亡者許り多くて動もすれば椋鳥の網を張つてゐるてふ評判が內地に喧すしい今日であるから鎖細な事のようだが理髪床や洗湯屋の價下げを斷行して土地の評判を惡くしないやうにして貰ひたいものだ

●遼陽の退去處分 愛知縣名古屋市籔下町七十二番戶平民富三郎妻深藤タキノ(五十一)三重縣志摩郡鳥羽町六百一十五番地平民大畑留吉(三十四)の兩名は遼陽に居留して以來一定の職業とてなく婦女を欺瞞して誘拐周旋する等惡みても餘りある不正行爲多かりしより前者は三年間後者は二年間孰れも七月三十一日付を以て退去を命せられたるは小氣味よく倘此種の奴輩は一掃したきものなり

●醉月と東京館のお灸 十二時後の歌舞音曲は豫て停止せられたるにも係らず時々規則を犯して飛んだお灸を戴く料理店あるこそ困つたものなり、二本町東京館、元神廟街醉月の料理店は一昨夜二時過ぎにも係らず藝者及び客をしてドンチャン〳〵と大騷ぎをやらかして居る最中を市街巡視の憲兵に現認せられて散々説諭を受けたお土產に何れも一圓の科料に處せられたりと云ふ

●退淸違犯者の重禁錮 電話賣買詐僞事件にて永らく我領事館監獄署に留置せられたる山口縣生れ元壯俳三由豊一(卅五)は審理の結果證據不充分にて無罪放免となりしが其交換として地方の安寧防害てふ廉を以て三個年間淸國在留を禁止せられたる事は當時の本紙に揭載せし所ありたるに豊一は去る六月十一日大連經由歸國する旨領事館に屆出て置きながら一度び大連に至りてより四五日同地に滯在の上引返へして爾來溝郝子、錦州方面を彷徨ひて圖々しくも去る二日再び窃に當地に來り永世街矢嶋久藏方に潛伏し居るを慧眼なる其筋の探知する所となり引致取調の末退淸命令違反者として重禁錮廿日罰金五圓の處刑を受けたりとは飛んで火に入る夏の虫とかや

●喰逃げ二人り 廣島市空鞘町現時元神廟街日淸館止宿長谷川正市(卅五)は同館の下婢某を昧く瞞着込み金製平打指環一本を奪ひ小用に出で行く如く裝ひ其儘何處へか消え失せたりと又南洲館止宿廣島縣生れの船員高木政太郎(廿六)も一昨日晝過突然同家を出し儘今に歸館せず之れも行衛不明となりたりと云ふ內地喰潰しの無頼漢連中の追々多數入込み來る模様あゝを以て當業者は此際充分注意すべき事なり

●流行の煙草入 煙草入は男持ちとしては從來の通りて相不變腰にさげるのが流行して居るが卷煙草の流行につれてあまり此頃は變化をせね、卷煙草入れは袋物も持てはやこさて一般の受けがよいがやはり模様の高尙なエジプト模様や天平模様を應用したもので形は縦ぶたより橫ぶたのである價は普通一圓內外である此外に當今は金屬製の卷煙草入れか賞美される、物は上等で赤銅に金象眼次で銀アルミユームとなるが模様はスミレだのクローバーだの菖蒲キユピット等で少しらんだものは龍、福祿壽、寶來山等がある價は普通赤銅で四十圓位其他は八九十錢から五六圓までゝある婦人用も形にあまり差はないが夏向としての流行はやはり淡白な模様で博多か鹽瀬のか貴美されて居る、縮珍等もあつさりしたのは流行して居る、價は普通八十錢から四圓位までである

投書かご

▲現今營口で立派な紳士と云つてよいのは幾人わるでしようか破廉恥極まる女郎屋の亭主でも賭博の親玉でも詐欺の大將でも何でも蚊でも金のあるのは紳士として尊重せられ敏腕家として持て囃やされて金かなければ如何なる高潔な廉な士ても「ゴロツキ」として冷遇せられ實に憤慨に堪えない但茲に注意すへきは唯狐の尾を露出せさる事尤も緊要だ(憤慨生)▲僕は一昨夜十時頃公園の內外を散歩したか歸りがけ日營ホテルの家前て日本婦人三人と支那人二人とあばれて居るのに出會つた暫くすると一同はシャンパンに乘つて遼河を西へ下り歌やら何やら下らん事をしやべりて實にだらしがなかつた實に僕は日本人として此有様に淚が出た(雪南)▲投書者の筆蹟等檢べ度き時は參上次第拜見致されますか(無名氏)掛曰く一々塵取の中に入れますから分明りませぬ▲僕は遼陽に此間旅わしましたが戒る月明の夜ふと戰爭中の事を思ひ出して左の句を作りましたどうぞ御訂正を「滿月やカヲリヤンの影に敵の聲」(愛句生)

廣告

法學士 辯護士 植賀連

大連大山通二丁目三十一番地
目下當地左の出張所に居住す
營口永世街第三號ノ二(金城館ノ南隣)

近江病院 永世街二本町
院長 近江周友
副院長 增田八郎
內外科梅毒婦人科眼科胃腸病專門
午前宅診 午後往診
入院治療を諾す
但輕便入院法あり來談を乞ふ

牛骨 平井牛次郎 急性肺炎に罹り療養中の處養生不相叶本日午前八時死亡致候間生前辱知諸君に謹告す
八月七日 友人
遺骨は火葬の上本願寺出張所に安置せり

自轉車 中古上等一輛歸朝に付廉價に讓渡
豐濟門街三八(第三樓横丁南三丁)佐々木

滿洲第一湯崗温泉
風景佳絕、旅館、料理、遊技完備
效能、胃病、脚氣、神經痛、子宮、刀傷
大石橋―營口―海城―湯崗温泉全停車場―遼陽―奉天

今般其筋の許可を得左の處に於て精良牛乳販賣仕候間多少に拘らず御試用の程奉願候
元神廟街二四九 電話三番
精乳舍 牛乳販賣所

社告

一週年大福引會豫告

今回本社創刊第一週年記念として聊か讀者諸君平素の御眷愛に酬いんか爲に大福引會を催し多數の讀者に一人も漏れなく景品を贈呈する方法を採ることに致しましたその景品中の重なるものは

一等 金時計(天賞堂保險附) 一個
二等 貴婦人用帶地 一筋
三等 純金指環(大西白牡丹製) 一個
四等 上等洋傘 一本
五等 縮緬兵兒帶 一筋
六等 縞毛布 壹枚
七等 フランネル單衣地 壹枚
八等 勸業貯蓄債券 壹枚
九等 卷煙草入 壹個
十等 言海 壹部
(十一等以下は漸次發表します)

等であります、月極讀者は勿論、後滿一ケ月以上本紙愛讀の方には周く福引券を配布します、景品陳列及び抽籤方法等の巨細も亦追ゝと我紙上に揭げます

有志家寄贈副景品
▲白米 一俵 第三樓
▲八丁味噌(大樽)一丁 金城館
▲手拭 十反 日本館
▲エジプト紙卷煙草五箱 第一樓
▲縮緬上等兵兒帶一筋 奉天金城館
▲臺灣製夏帽子十個 醉花園
▲玉突券五十枚 第二軒
▲平野水四ダース二箱 東邦亭
▲エジプト紙卷煙草二箱 三日月樓
▲澤庵積一樽 公樂園
▲麻製ハンカチーフ五ダース 東雲館
▲麻製ハンカチーフ五ダース 大和館
▲敷島紙卷煙草二十入三箱 萬直し
▲上等西洋料理券三枚 牛莊ホテル
▲リンチル上等洋服一着 富永洋服店
▲上等セル地婦人單物一枚 祇園閣
▲置ランプ三個 二友洋行
▲吳服券三枚「五圓」「三圓」「二圓」 玉井洋行

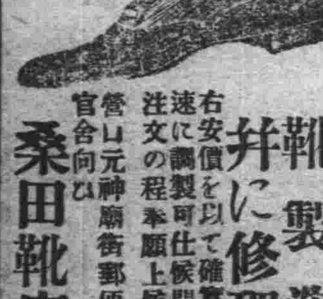
滿洲日報社

◎煉瓦販賣
上り竈ニテ日本人ノ製造シタル堅牢ノ煉瓦ガ御望ナレバ當洋行ニテ御需メクダサイ
二本町 高坂洋行 煉瓦製造部 (電話九十番)

硝子、陶器、藥種、雜貨、質商、魚菜ラムネ、檸檬水製造販賣並に淸酒金水、龍印特約一手販賣其外洋酒類
特にラムネ及檸檬水は夏季の飲料用として原料を精撰吟味す
遼陽西門外街 林洋行

廣告
明治卅八年末より本年七月の間に於て軍用準備擴の名義を以て代議士降旗元太郎君會計佐志雅雄氏資本主淸國人との協同事業に係る擴復州五湖嘴東関湖の鹽買幷びに業務取扱ひの件中資金の費消、決算の未了苦力賃の不始末二重轉賣等の儀に就き拙者が曾つて右事業の一部に關係したる爲め辱知諸君より異様の御質問を蒙り一身の名譽上迷惑不尠拙者は右様の不都合なる行爲には全然關係責任なき者に有之候間右爲念玆に廣告致候也
明治卅九年八月五日 東菊松

廣告
弊洋行儀都合有之今般營口を引揚げ候に付此段廣告す
追て殘務整理は元神廟街第四十三號(李俊裏)に於て取扱候也
八月 日 永世街 田原洋行



靴製造幷に修理
右安價を以て確實迅速に調製可仕候間御注文の程奉願上候也
營山元神廟街郵便局官舍向ひ 桑田靴店

諸毒下し
毒掃丸
一名一ケ月丸

梅毒、そう毒、一つ毒、胎毒、よこね、かんそう其他諸毒又ハのぼせ、頭瘡、頭、手足に腫物生し困難なる人一日も早くためし見よ

軽症ハ二週間重きも二ケ月間にて全治すべし故に一ケ月丸の名有り

大日本帝國東京市山崎帝國堂大藥房製劑 **毒掃丸**

本劑實爲梅毒專治之靈葯故瘡毒、楊梅瘡、胎毒濕毒、淋毒、天梅毒、便毒、疳瘡、及筋骨痛梅毒性咽喉爛及口中紅爛先天及後感梅毒性眼疾頭痛耳鳴等症服本劑其効神速的確恰如操左劵凡用本劑者病毒輕者則二禮拜乃至四禮拜全癒重者則百日乃至百五十日除根萬無一悞若無病之人服常本劑能快通大便排泄百毒庶足以徵其効驗也

●●定價四日份　三角
●●一禮拜份　五角

總經理批發　營口永世街（司法部前）
回天堂三木大藥房（電話百九十番）

廣告

高等麥酒スペシヤルライト

スペシヤルライトは東洋に於ける外國製麥酒を驅逐せんが爲め特に釀造せるものにして原料精撰風味高尚夏季唯一の好飲料たるは世上已に定評あり

本月一より麥酒取引は一切現金にて御願申上候

六月

釀造元　營口元神廟街　大日本麥酒株式會社
滿洲一手販賣店　關東公司雜貨部（電話五番）

分店　關東洋行
奉天四平街電話十三號

ペンキ塗請負　京阪組
臨時出張所　鐵嶺正金工場内　新民屯泰東公司内
營口豐濟門街三十一號

醇良日本酒　金盃
サツポロビール
孔雀印平野水
大販賣
和洋雜貨　洋酒化粧品　千賀洋行　奉天鐘樓南大路西
酒類　食料品　千賀洋行支店　奉天小西關大街路北

支那叢書第壹編
支那政府組織　全（定價一圓）

清國の情況を知るは現下の急務なり清國の情況を知らんと欲せば先づ組織の異相を知らざる可らず老帝國政府の異相を知らんと欲せば乞ふ斯書を一讀せよ

軍人諸君には特に一割引とす部數に限りあり至急御申込あれ

營口重盛街　販賣所　滿洲日報社

營口　周　電話八一

雜貨　洋酒　煙草　卸シ　小賣
大連　南洋　湖北　彩票　販賣

西北街　裕和盛

罐詰　紙　化粧品　特ニ　安賣
東清鐵道　遼河　貨物運送

御料理旅館　三河樓支店

弊館は奉天城外十間房第一風景美なる地にありて最も納涼に適す今般業務擴張と同時に宏壯なる日本家風の二楷屋新築し樓上等も暑に應する設備致置候間續々御光來被成下度伏して奉願上候以上

樓主　川上總吉

祝開業一週年

福引會席御料理　壹圓

弊店儀皆樣の御引立を蒙り日に月に繁昌仕候段難有御禮申上候就ては今回開業一週年を期し内地より藝妓仲居新顏を呼寄せ座敷等も閑雅に夏向は殊に納涼に適ふ樣大に改良仕明二十六日より來八月八日迄左の方法を以て御客樣の興を相添へ聊か平素の御愛顧に報ひ度候間何卒御誘合せ御光來の程偏に奉願上候

左の十二月に分ち御引出の籤に當りたる月に依て差上可申候

正月	ビール二本　會席五品　藝妓一時間
二月	會席五品　御酒一本
三月	會席五品　ビール一本
四月	會席五品　御酒二本　敷嶋たばこ一
五月	會席五品　ビール一本
六月	ビール二本　會席五品　藝妓一時間
七月	會席五品　御酒二本　敷島たばこ一
八月	會席五品　ビール一本
九月	會席五品　御酒一本
十月	會席五品　ビール一本
十一月	會席五品　御酒二本　敷島たばこ一
十二月	會席五品　ビール二本　藝妓一時間

月　日　營口豐濟門街　柳亭

祝開業一週年

開業御披露廣告

遼陽城外西門外街西へ入
和洋御料理　遠山館

今回皆樣方の御勸により遲れ勝に開業仕候へ共料理と勉強美形と待遇とは決して遲れぬ樣にと精々注意可致候殊に一棟は西洋料理室の專用に充てコツクも本國新來の腕利を雇入れ候へば美味は受合且輕便を旨とし一皿にても貴需に應ずべく候條陸續御來館の上御試し被下度奉希候以上　敬白

御料理旅館
扶桑館
奉天大西關大什字街第五分局千〇六十八号
館主　堀田ハル
電話　号

改名業務擴張廣告

遼陽陳家街破水井より東へ入る右側
御料理旅館　元吐月改め　東來館

今回元吐月を東來館と改稱致候に就ては萬端を刷新すると共に業務を擴張し精々勉强可仕殊に御料理は輕便をむねとし時節柄一層吟味可仕候間陸續御來館の程奉希候

遼陽兵站業務取扱所御指定旅館

遼塔ホテル	遼陽城外喇嘛塔下
遼東館	仝城内東街
滿洲ホテル	仝城内西街
浩氣館	仝城外喇嘛塔側
藝陽亭	仝城外西門外通
遼陽館	仝上
東洋館	仝城内東街
滿洲館	仝城内北街
梅廼家	仝城外西門外通

法料理
滿月　平野町（二六一電）
滿月支店　平野町入口
店主　青木勝惠

歐米各國最新流行形
西海洋服店
街区一四一（療病院三軒目）（電話二百十七號）

○板材木　○蚊張
○金物類　○金庫
○疊建具　○花莚
○椅子テーブル　○ペンキ
○洋燈類　○文具
○鰹節雜魚　○紙類
○酢醤油　○罐詰
○其他雜貨色々
新荷着大安賣

石
營口西北街　石光洋行
遼陽西門外　石光洋行支店

土木建築並ニ測量設計請負
營口青堆子綏定門外　志岐組

昌
滿洲昌圖株式會社
營口分局
營口元神廟街第貳九八號

資本金參拾萬圓
日清合股

總局　盛京省昌圖府東街
既設分局　牛家屯車站、昌圖車站、四平街、通江口、大連、遼陽

本公司經官准認眞開辦左開生理
一、東清鐵道轉運
二、昌圖以北馬車運送
三、轉運貨物保險
四、抵貨匯兌
五、各支店所在地棧房

兼辦關内外鐵道又海外轉運（與大清通運公司連接）東清鐵道沿路各站分局現方在設備中倘蒙愛顧貨客親自到本賬房及各處分局賬房面議爲荷貨客運貨途倘有水濕毀壞短少等之損傷本公司當勝按照地市價包賠此

新荷着

籐細工用品　洋食器用品　肉碎器　秤卅六貫以下種々　手提金庫　コッピー用附屬品
窓掛及附屬品　夏帽子各種　戸田式濾水器　宇治新茶　ワイシヤツ及カラー　學校用文房具各種　各種復寫簿

關東公司雜貨部（電話五號）

牛莊松岡病院
内科　外科　眼科　婦人科　診療
入院治療を諾す
殊に外科は無痛手術を施し梅毒淋疾痔疾皮膚病耳鼻咽喉諸疾は嶄新根治的療法注射療法或は血清療法を施す
元神廟街第百三十四號
全科醫士　松岡玄雄（電話一五一番）

東洋雜貨　貨眞價實
加藤洋行
東海關後街
本行　天津
分行　營口　北京　大阪

病室增築輕便入院

是迄病室少く多數の貴需に背くを遺憾とし今回更に增築し輕便と懇切を主とし一層院務を擴張し汎く專門の功果を收むす

○全身魔醉○　○局處魔醉○
○嶄新器械○　○無痛手術○

○梅毒婦人科專門
○外科胃腸病

日本醫院

宮門抄

十三日

外務部　欽天監　侍衛處值日無引見

福建藩司周蓮到京請　安　孚琦續假十日

胡燏棻續假二十日　色楞額續假一個月

召見機　周蓮

提督衙門奏擄中營副將鮑湧泉叅將王文煥遊擊張得海督帶守備于清把總王永興王增餘倪寶山等補把總李興等會同左營都司袁得亮撤任叅將金如鑑備守王允忠分投前往昌平州屬暨紳董在干柳林村北安河村並南苑大紅門外大屯村等處拿獲隣境執持洋槍打傷事主欄路搶刧之盜犯蔣二即蔣鳳海劉六即老六猴張小石頭即張井方等七名一案均交刑部　外務部遞封奏二件

上諭恭錄

十三日奉

上諭色楞額奏因病懇請續假並派署都統一摺色楞額着賞假一個月正紅旗漢軍都統着壽耆兼署欽此

奏議

外務部奏續擬調用人員辦法并設立儲材館摺

奏爲續擬調用人員辦法並設立儲材館管理一切事宜恭摺具陳仰祈　聖鑒事竊光緒三十二年二月二十一日奏請臣部司員需人隨時調用京外各官及卒業學生到部行走等因奉　硃批依議欽此欽遵在案數月以來臣等遵將前奏事宜悉心考求詳籌辦法前奏內稱無論京外現任候補候選各官及各學堂卒業出洋留學卒業各學生擇其品端學優爭理通達或嫻習各國語言文字或研究中外政法條約者隨時咨調到部等語查交涉文件應從主國之制惟英法兩國語言文字實爲環球諸國所習用尤應兼通博習以窺竅要而運機宜臣部現有司員選取皆憑考試於漢文案牘似能勝任即研究中外政法條約者亦尚不乏其人惟於外國語言文字講求其夥嗣後需用人員應先就兼習各國語言文字曾經出洋或曾在各省辦理洋務者擇尤調取至卒業學生亦宜先儘曾經留學歐美各國及日本者而專在本國學堂肄業者次之庶可以力爭上游而實收得人之效前奏又稱咨調到部分派各司額外行走試看一年如果才堪造就再行奏留酌定歸何項班次候補如有實不副名未能得力之員仍即咨回以昭愼重等語查臣部四司各有專職從前司員到署分司治事藉資習練現在變通辦法除爲臣等稔知隨時奏調擢用外其餘咨調之員概不分司先就所能將臣部預爲籌備事宜責令調查以視其學再將臣部交涉重要案件責令試辦以練其才數月之後優絀自呈果能名實相符自當即時拔擢若其未甚妥協亦宜照案咨回原奏試看一年本爲慎重取舍起見然爲期過久而長才不免屈抑庸流輙樂浮沈故奏留咨回之期不必定以一年爲限以上兩事皆仍本原奏之意而或則補其闕漏或則加以發明誠以立法不厭求詳而取材必期適用也且前奏有所未及而於茲事頗有關係者臣等請更連類言之其一曰專任用功名之士亟思自奮使不預懸一鵠使其知所趨赴則人皆將觀望而不前臣部司員既經停止保送考試嗣後司員缺出新調人員與舊有人員一體酌量序補至各國使署參贊領事隨員繙譯向章可由臣部司員充當惟每館或僅派一人或未派往嗣後各國使署所有參贊領事隨員繙譯應專用臣部所調人員未補至如何遴選派委之處容俟臣等歸入整頓出使章程中一併議另行專摺奏定又各省交涉日繁大都設局辦理俟臣部所調人員造就足用之後如各省將軍督撫需材贊助應准其隨時奏調以期得力其二曰嚴考察錄用之途既廣甄別之法宜嚴調員到部學習辦事自宜分定責任訂立規條無論官階大小一經到署均宜恪遵若不服從便當撤退其有沾染污俗不自檢束者尤應嚴予擯除以爲害群之儆其三曰優廩餼臣部各員所得廉俸不可謂薄惟新調人員不能遽得實缺區區津貼安足羈縻且各省出色人員大都身兼要差所入較爲豐贍至留學外國畢業諸生各省設立學堂相需甚殷多出重金爭先延聘若使相形見絀安能招之使來欲廣搜羅宜優俸糈新調人員到署均擬優給薪水分別等第一以造詣之深淺資格之先後爲衡但能得一二眞才而　國家已隱受無窮之利益重祿勵士有固然已特是欲行一致不可不整其機關欲舉一事不可不完其組織機關不整則對於內必有局勢渙散之虞組織不完則對於外難收呼應靈通之效以上所陳各節事情極爲繁重若非特設處所派員承辦不足以資擘畫而專責成臣等公同商酌擬於本署設立儲才館一所凡有調用人員及凡與有關涉之事均由該館經辦謹擬具章程二十五條另繕清單恭呈　御覽現在創建伊始規模簡畧應用經費約計每歲需銀四萬兩當可支辦即由臣部就出使經費項下籌撥嗣後如須推廣再行奏請量予增加至調用人員駐館辦事所需堂舍必須另行興築方爲合用惟因亟於開辦祇可就臣部衙門現有房屋酌加修葺俾資應用所有臣等續擬調用人員辦法並設立儲才館管理一切事宜緣由理合恭摺具陳伏乞

皇太后　皇上聖鑒訓示謹　奏奉

硃批依議欽此　（淸單續錄）

東京電報

●香取號進口之期（西八月六日發）　新造戰艦香取號日前已經通過馬來水道今現在支那海上於西八月十五日當即駛抵日本橫須賀軍港進口云

●匪徒猖獗關於軍政之撤廢　近時在滿洲各處匪徒結隊橫行恣意掠奪甚則戮人燬家極形慘劇日本陸軍當軸諸公或有以匪勢之猖獗殆因於撤廢軍政云

●俄國擬派大使　日俄戰役以後列國均派大使駐日本而日俄之間獨不置大使因之此次俄國政府特照會日政府互交換大使以輯睦國交云

●林星使之警告

駐京日公使林君警告淸國外部云近時滿洲各處鬍匪日益猖獗在留外人之生命財產均有難期保全安固之勢是明背戻開放滿洲之素志貴政府須嚴整兵備勦滅匪徒以期共靳治安云

中外要聞

●肅邸對日本之意見　肅邸談及東三省事宜據云近時官場與報章論及滿洲事宜者均駭詫日本自以爲快抑亦誤矣蓋日本已於戰前聲明交還滿洲現於戰後豫備一切以期符前言而今有將一項事嘖嘖煩言或恐日本致生誤會竣碍感情也夫愛生機微禍起不測迄今動因瑣事以與鄰邦論難非所以講國家百年之長計也予竊憂焉

●整頓強蒙政策　聞肅邸將整頓蒙古自强辦法具摺入奏其大要云查蒙地一帶須先以開礦築路爲要所用費款宜令[?]藩籌措而將其餘利爲墾荒練兵之用以圖富强而固邊圉云

●日軍勦捕鬍匪　大連函云鬍匪大股隊襲擊貔子窩官衙一節茲悉鬍匪等襲擊後越四日（即西歷七月二十七日）又有鬍匪四十餘名結隊突襲老虎山駐在所搶掠一空聞是日日本巡查田崎杉山二人以及中國巡捕五名均爲鬍匪包圍奮戰苦鬭竭力防守而田崎巡查已先斃嗣巡捕二名受傷尤鉅勢不能抗於是[?]匪竟搶良馬三匹與日員杉山之妻而去路愴斃日本賣藥商人一名並燒燬民屋二處大逞兇焰無惡不爲於是由該地方官電稟請亟派兵彈壓先由令上川警部隨帶捕員從事搜索[?]匪夜以繼日悉心搜捕然未得頭緒今突有此事故由柳樹屯兵營添調之野口少尉統帶一小隊協心同力直向老虎山前往勦辦至具家屯與該鬍匪隊遇開戰少時竟經擊退並奪回搶去之日婦與良馬又鹵獲其軍械匪賊等遺棄受傷者數名餘黨均向老虎山南方高地遁走興築防禦工程以待援軍然刻由日軍已經擊退聞日都督由金州調派勁旅以期討滅匪徒俾不遺餘孽云

●塔城設中俄交涉局　塔爾巴哈台辦事大臣安成電政府云現在塔屬俄商往來交涉日繁稽查保護在在均關緊要已擇於吉木奈地方設立中俄交涉局一所派委熟於中俄情形人員辦理並移防隊駐紮以資聲援而重交涉

●改蒙古行省不確　肅親王回京後而改設蒙古爲行省之說又起茲探得確實消息並無此事因肅邸考察東部內蒙古所有北郭爾羅斯旗杜伯爾特旗科爾沁旗烏珠烏沁旗敖罕旗達爾罕旗奈曼旗已開墾各旗地均陸續改設州縣由各就近之黑龍江吉林奉天將軍及熱河都統兼轄惟年前有將熱河改設巡撫之議劃張獨多口三廳與綏遠城及內蒙各地隸其屬嗣因款絀後作罷論

●宣明關東都督官制　日政府將關東都督府官制裁定已蒙命允頒佈其大要云關東都督職司關東防備即保護鐵路監查南滿洲鐵路公司並與中國地方官憲磋商一切事宜或當臨時施用兵力等項均屬其所有權限

關東州分爲三區每區設置民政署

都督由陸軍大將或中將充任

●撤退駐奉軍政署　奉天鐵嶺等處軍政署已於日前裁撤又遼陽軍政署定於明日撤退安東縣新民屯軍政署定於西十月一日一律撤去

●日美電線開通　日美兩國間海底電線已經告竣現從今日通信

●廣東提學使于式枚請開缺另調　前略伏讀上年　諭旨停罷科擧命各省學政專司學堂時逾半年毫無成績致疆臣抗疏部臣建議奏請裁撤凡在視學諸臣應各具有天良宜如何自省愆尤痛加懲艾況以微臣奉職無狀尤爲屏黜所宜先乃荷　聖慈曲加甄錄以五六冗秩授三品實官正當惶恐待罪之時忽拜逾格超遷之　命能不外慚羣議內疚神明特恩予調一北方荒遠之區人地相宜竭粗淺之能啓童[?]之意識（後略）

●袁京兆啓程赴鄂　公擧湖南鐵路總辦袁大京兆經鄂迭次電催赴鄂商議路[?]袁本擬乘京漢火車嗣因迄未開車故日前已啓程赴津搭輪由滬赴鄂矣

●仍派石道勘界　雲貴總督丁振鐸電覆外部爲遵照派員查勘緬甸雲南界務一節現仍派迤東道石鴻韶前往滇緬交界勘量俟勘畢繪圖再行呈覽

●戴侍郎有充總裁消息　聞政府人云近日王大臣曾議政治館事宜擬俟考察政治大臣戴侍郎回京後保其充當政治館總裁（按昨誌澤公有充政治館總裁之說或云戴侍郎爲副總裁云）藉收事半功倍之效

●江北借兵防匪　江南省淮安府屬以及徐州海州等處之民風異常强硬故賊匪衆多現經江北提督劉永慶暫向江省借兵以資巡防並擬一面行徵兵之擧重厚兵力

●寗飭巡防邊要　聞政府日前又有電致兩廣總督岑云近因粵省盜匪猖獗雖經官兵剿辦未能刈盡根株查廉欽兩府控臨海洋地處極邊西北界接廣西西南毗連法越層巒巨浸荒遠阻深巡防最關緊要務請迅即加派兵弁前往駐紮邊界要隘以資震懾

●裁織造消息　聞各省織造之缺有一律裁汰之說所有一切織造事宜全由督撫承辦據官場人云此缺恐一時未必裁汰大約裁汰將軍都統並酌選駐防旗人京旗常備軍一律操練之擧當在裁汰織造之先發明

●會議奉省改定官制　聞政務處諸公連日會議爲京將軍趙次帥奏請改定奉省大小官制一摺大致有多數照准惟須東三省開[?]事與考求政、大臣商議妥善方克奏覆施行

●咨催解交賠款　聞署理閩浙總督崇制軍昨咨戶部文云所有本年六月應解償還各國賠款現就洋藥釐金項下撥銀二萬兩作爲閩省第五年第七期新案賠欵業已發交商號限於月內解交滬道收納應請大部查照存案

雜報

●誤刧回譽　昨由東鄁所來人言其於花烟台店內聞諸人云前日該村北禾田陌上遇出二人緊臂短衫兜臀褊袴皮草帽狀若兇徒比肩北往衆審其脇下支撐若藏銃刃知非善類然事無顯據亦姑置之令彼借去而已既而東北叢禾徑中突出一人衣裝形狀頗不良普大聲截喝南來一人令其暫止前行腰帶錢財借給我輩需用該二人笑而答曰原係一家猶不識也我二人亦是等路行客借錢者也因而四人對立共繙刧路一行賊話絮聒數四乃同散去時有耕夫於樹陰藉眠醒而佯寢不敢作聲遂乃窺聞甚悉故此逢人傳說想此時田禾叢深隱人不見而挺[?]徧是往來徒行旅客務宜格外小心俾[?]中途遇險云

●義擧可嘉　營口三江會衆商夙以振興學校爲心頃者該會董等親抵軍政署內助銀參千圓爲學堂經費其義擧

●奸徒現報　昨報載狠子野心一節紀徐　訃出其妻不知何往亦未卜生死存亡今聞徐某名泰係本埠人現賃西大官塘王姓院宅居住該孀交之劉姓婦女由月前曾與新民屯泰昌德客莊孫百川相識情緣溺戀孫寓西街和順長院內距婦居約半里許故往來甚便有一日不見如三秋兮之意該客竟爲劉婦所迷揮霍不惜奈有徐泰把持鬪隔從未得鴛夢終宵乃甘願給徐多資求遂一夜之願而徐決不容因致該婦憎徐兩相詬誶婦前乘徐遠送其妻之際私與孫約別向他處賃屋意欲適孫度日從此創籍從良永不倚門賣俏矣並同孫約共白首矢死靡他孫亦[?]從其謀咸曰斯殆孫客合與該婦有夙緣耶抑或錢神之力有靈如此耶然而徐[?]亡其妻又絕該婦斯時進退維谷猶被人嘖有煩言到處唾罵想蕩子薄情多有捨內顧外者亦可以此爲烱戒矣

●土賊充斥　昨聞埠外來人云距營東四五十里之地方素苗徧地茂密叢深附近刧路各賊賴作獲身之符時常隱形其內設稍有動靜即時潛入脫逃因之來往行人多有被刧之事且其地方一帶東西十餘里空曠無人村落相距遼遠往往在該處被刧之傳聞前日有懸王寨之鄉民三人來營買物購齊回歸行至高坎迤東時天已昏暮三人恃有妥伴初尚不以爲然不意正在急行投宿之際忽於禾稼叢中陡出盜賊二人皆執鎗遽前阻路當將買物所餘銀洋十餘元如數搜刧而去惟三人未敢稍抗幸未被盜致傷云

市價の欄
豆油　麥粉　太米
馬狗　太狗頭　艶馬　眞龍相連
老船　紅劉海　鐵毛　立馬
爲換相場（正金銀行）
料理　前南江入る
木局
東靑堆子橋南　淡谷木局

昨日の氣溫
最高溫度八十一度八　最低溫度六十三度一
昨年より　低七度二　高八度二

營口旅館料理店案內 いろは順

旅館 料理 第一樓 元神廟街九十六號(營口ホテル)

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

料理 一力 營口永世街 店主 堀万助

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東京樓 營口新市場前(電話一七六番、四番) 店主 熊田兼次郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號正金銀行西三丁程

料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 沖の嶋 永世街百六十四號 店主 中川彌三郎

料理並に氷いろ〳〵 翁亭 營口元神廟街 店主 長谷川金次郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館 高砂ホテル 西北街(電話一四五番) 店主 引山小みつ

料理 樂々亭 營口元神廟街 店主 武部眞

旅館 大和館 永世街三十四號(電話十一番) 店主 前田九一郎

料理 萬梅 豊濟門街第百〇四番 店主 島田彌助

料理 まんなをし 永世街字二本町 店主 和田常松

和洋料理 公樂園 南永世街

料理 喜樂亭 營口平野町

料理 都樓 平野町 店主 阪本ちか

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

旅館 品川館 營口永世街一六號

和洋料理 松月亭 營口元神廟街一一三四 店和 末松信太郎

料理 旅館 醉花園 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

奉天旅館料理屋案內

商人御定宿 瑞豐館 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉(電話□)

會席御料理 高等御旅館 天神樓 奉天小西關大街北側 (電話□) 溫泉付大勉强キレーデチイシヒ

旅館料理店 日淸館 奉天小西關大街南側 館主 入江熊男(電話□)

奉天兵站部指定 旅館 茂林館 奉天小西關大街路北 (電話二十五番)

御旅館 瀋陽館 奉天小西門外大街路北

御定宿 第二東京館 奉天小西關第五分局八一〇 館主 松田平四郎
今回弊館組織に大改良を加へ淸潔閑靜を主として旅館業に專ら御客樣の御便利を計り內湯新調仕候間御來宿の程奉願上候

御旅館 御料理 梅松館 奉天城內灰市街東華門宮殿東側 館主 押尾富次郎(電話號)
今回弊館座敷增築の上淸潔廉價を旨とし川魚(鰡井鯰蒲燒)等をも新調且つ仕出等致し御中喰には至極御便利に御取り計ひ可仕候多少に不係御用命の程偏に奉願上候

和洋高等御料理 遼東館 遼陽城內東街一八九號 電話號

諸鐵工製作
鑛山船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般
營口ブシツ綏定門街東商會
喜川鐵工所

和洋會席 御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
營口永世街二本町 日本館(電話百三十)
各位樣

日本郵便局受拂軍票相場 金一百圓に付 一百二圓

日本品最近物價表

元祿綢シャツ 八十錢
ヘルメット帽子 二圓五十錢
縞セル鳥打帽 一圓七十錢
セル地ジャーマン帽 二圓三十錢
皮製寢臺布團 二十圓
淸酒澤龜四斗入 大原洋行 二十圓
東京淸酒(澤庵)四斗入 十七圓
罐詰三十個入 七圓
松茸仝四打入 十一圓
極上鮑仝仝 十七圓
福神漬大五打入 十一圓
全 喜撰新茶半斤入 全中
玉露仝 小半斤入
四分板 杉 二圓五十錢
六分板 四十五錢
八分板 二十錢
營口材木商組合
一圓二十五錢以上
一圓五十錢以上
中貫 上 並
押角長二間 自三寸至八寸 二十八錢
九寸以上 二十二錢
六錢五厘

料理店旅館擴張廣告

四方各位益〻御淸榮被爲入奉大賀候陳者弊店儀義に滿洲樞要の都府に當る奉天小西門外什字街に料理店旅館開業仕候大方紳士紳商諸彥の御引立を蒙り日に增し盛大を來し從つて家屋手狹まを感じ候に付今般一層業務を擴張し更に本店を當府小西關新來街に設け以て專門の料理店となし日本式ナ宴會(百人迄の設備有之候並)に歌舞藝に適する樣大廣間落成致し候に付き此際本支店共奮つて一大改良を施こし親切叮嚀に衛生と淸潔とを主とし精々勉强廉價に相務め可申候間尙一層之御愛顧御引立の程伏而奉冀上候 敬白

追而料理店旅館の位置は奉天小西門より約二丁西方に當り市街輕便鐵道を中心とし約三丁有之候間御來駕之節は路上の目標に御注目被成下度特に願上候

御料理 本店 奉天小西關新來當街々 金城館(電話十九)
御旅館 奉天小西門街大什字街 金城ホテル(電話一〇)
御料理 支店 營口永世街 金城館(電話八三)
御旅館 支店 營口永世街 金城ホテル
御料理 支店 大連市吉野町 金城館
御旅館 支店 大連市吉野町 金城館

御料理 雜貨 盛進館 陽城內西街 井川商會 店主 北ツネ

御旅館 和洋御料理 奉天館 奉天軍政署指定旅館 奉天城內鐘樓南大街(電話十四番)

日淸俱樂部 奉天城內大南門裡大街(電話十五番)
西洋洗濯 麵麭製造 日本大工 靴製造 裁縫 理髮

氷 御小賣所

有 土木建築請負 煉瓦製造販賣 有馬組遼陽出張所 遼陽城內西街
雜貨御小賣 主任 海南右門

滿韓境上唯一樂園 五龍背温泉

安奉鐵道安東縣驛ヨリ五龍背驛迄一時間半
溫泉塲ハ五龍背驛ヨリ僅カ一丁
眺望絕佳今ヤ新綠滿タルノ下淸流掬スベキノ仙境タリ
當溫泉ハ元陸軍療養所ニシテ今回公衆ノタメニ開放セラレシモノナリ
効能ハ脚氣、痔疾、刀瘡、神經病、胃病、子宮病、僂麻質斯、黴毒、癩病等ニ特効アリ

牛莊ホテル

遼河々岸
營口唯一西洋式のホテルにて宿泊料は極廉なり
酒部屋及玉臺理髮所の設備あり
食堂の外休憩所及應接室あり御會談に適せり
大集會御人數百名位の設備あり
アイスクリーム等の多少に拘らず御求めに應ず
高雅にして見はらし最良の景色に富めり
開業の披露として料理切手一千枚限り發賣す
第一等二圓第二等一圓五十錢第三等一圓

遼陽州官設醫院告條

一凡請診治到院掛號須在上午自八點鐘起至十一點鐘止藥資例取附銀隨意
一若有愿獨免藥資者須在下午到院掛號自一點鐘起至三點鐘止
一特邀醫官於其家者另繳規資一元以上但在下午三點鐘以後
一欲求診斷證明諸單及處方箋另付規費
一每逢慶節及禮拜日一概休辦

石材 大販賣 石灰 英治洋行 (營口西北街) (電話三二)

自造 煉瓦●瓦 並に各種石材販賣 營口靑堆子 加州組 (電話八十六番)

軍隊用雜貨 日用品雜貨 食料品種々 舶來品類 其外新荷着舶來品精々大勉强販賣 遼陽西門外筋 北原洋行

土木建築用諸木料 板硝子類 マルソイド便利瓦 九州セメント オールドスコッチウヰスキー
廉價販賣
營口靑堆子綏定門外 志岐組 商業部

萬病救治 濟生八方 神効無比

仁 爽快丸
義 勝胃散
禮 婦女散
智 鎭腦散
忠 銷熱丸
信 掃毒丸
孝 淸明水
悌 瘡傷膏

日華製藥合資會社(電話百七十一番)
營口永世街八十一号

飯塚工程局材料部

營口元神廟街 (電話百三十五番)
弊局土木建築材料品の各產地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道產松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

上海 中井洋行 專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠訂有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙料莊票包棉紗等草板紙張日本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也 中井洋行

恵比壽ビール YEBISU TRADE MARK 登錄商標 DAI HIPPON BREWERY CO. LTD. TOKYO JAPAN 大日本麥酒株式會社

金井洋行
盛進商行

一杉丸太長一丈より五間迄末口一寸以上八寸迄各種
一杉縦桝松板類各種
一大小押角挽角小割各種
一右廉價販賣
營口永世街 喜久洋行(電話一五二)